

2023年3月期 決算報告

2023年5月15日

第一生命ホールディングス株式会社



Dai-ichi Life
Holdings

- 第一生命ホールディングス CFO の西村です。
- 本日は、第一生命グループの2023年3月期 決算報告の電話会議にご参加いただきまして、ありがとうございます。
- 私から資料に沿って概要をご説明し、残りの時間を質疑応答とさせていただきます。
- 2ページをご覧ください。

目次

● 本日のポイント	P.2
● グループ各社の業績概要	P.14
● グループEEV	P.23
● 参考データ	P.29

主要為替レート(TTM)

	米ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円
2023/3末	133.53円	145.72円	89.69円
2022/12末	132.70円	141.47円	89.57円
2022/3末	122.39円	136.70円	92.00円
2021/12末	115.02円	130.51円	83.42円

グループ各社略称・出資比率・決算期

国内保険事業			出資比率	決算期
DL	第一生命		100%	4-3月
DFL	第一フロンティア生命		100%	
NFL	ネオファースト生命		100%	
ipet	アイベット		100%	
海外保険事業				
PLC	プロテクトティブ	[米画] Protective Life Corporation	100%	1-12月
TAL	TAL	[豪州] TAL Dai-ichi Life Australia	100%	4-3月
PNZ	パートナーズ・ライフ	[ニュージーランド] Partners Group Holdings	100%	
DLVN	第一生命ベトナム	[ベトナム] Dai-ichi Life Insurance Company of Vietnam	100%	1-12月
DLKH	第一生命カンボジア	[カンボジア] Dai-ichi Life Insurance (Cambodia)	100%	
DLMM	第一生命ミャンマー	[ミャンマー] Dai-ichi Life Insurance Myanmar	100%	
SUD	スター・ユニオン・第一ライフ	[インド] Star Union Dai-ichi Life Insurance Company	45.9%	4-3月
PDL	パニン・第一ライフ	[インドネシア] PT Panin Dai-ichi Life	40%	
OLI	オーシャン・ライフ	[タイ] OCEAN LIFE INSURANCE PUBLIC COMPANY	24%	1-12月
DLRe	Dai-ichi Re	[バミューダ] Dai-ichi Life Reinsurance Bermuda	100%	
その他事業(アセットマネジメント事業)				
AMOne	アセットマネジメントOne		49%(議決権) 30%(経済持分)	4-3月
VTX	バーテックス・インベストメント・ソリューションズ		100%	

2023/3期業績

DLのコロナ支払の増加、DFLの外貨標準責任準備金の負担増や金利上昇、米銀破綻等の要因で減益

利益	グループ修正利益	1,844億円
	連結純利益	1,923億円
資本効率	グループ修正ROE	5.0%
	グループROEV	3.9%
新契約	グループ新契約ANP	3,920億円
	グループ新契約価値	878億円

- ▶ 前期比△38%：PLCの米銀破綻等による損失や、DLの新型コロナ支払増加、DFLの販売増に伴う外貨標準責任準備金の積増し負担の増加等の影響が想定を上回ったため、グループ修正利益は通期見通しを下回る（11月修正通期予想対比△23%）
- ▶ 前期比△53%：修正利益の減益に加え、前期の一時的増益要因の剥落により減益
- ▶ 前期比△3%pt：グループ修正利益の減益が影響し前期を下回る
- ▶ 国内金利上昇によるプラス効果を海外金利上昇や外国株式の下落が相殺し、3.9%（DL単体ROEV8.0%）
- ▶ 前期比+21%、※為替調整後：
DLが前期比△38%と低迷も、DFLの販売好調により前期実績を上回る
- ▶ 前期比△31%：DFL・PLCの販売は好調だったが、DLの販売低迷が響き、11月修正の通期見通しに未達

2024/3期予想

DL保険関係損益の回復や前期の減益要因からの反動等でグループ修正利益は2,700億円程度を想定

利益	グループ修正利益	2,700億円程度
新契約	グループ新契約価値	850億円程度

- ▶ 新型コロナウイルスによる支払増加や金利上昇の影響、米銀破綻等による影響からの反転により、主に、DL、DFL、PLCで利益回復を見込む
- ▶ コンサルティング改革に伴うDL商品の販売量低迷は底を打つ見通しも、2022年度に好調だったPLCの貢献が減少し、前期並みの水準となる見通し

株主還元

1株あたり配当金は86円（前期比3円増配）、上限1,200億円の自己株式取得を決定

23/3期	1株あたり配当金	86円
	自己株式取得	上限1,200億円
24/3期予想	1株当たり配当金	86円

- ▶ 前期比+3円：グループ修正利益の過去3年平均に対し、配当性向30%を超える86円の配当を決定*
- ▶ 23/3期は減益となるも子会社からの送金見通し、資本充足率(225%)（概算値）等を考慮し、3年連続の大規模自己株式取得を決定
- ▶ グループ修正利益予想を踏まえ、引き続き86円の配当を予想

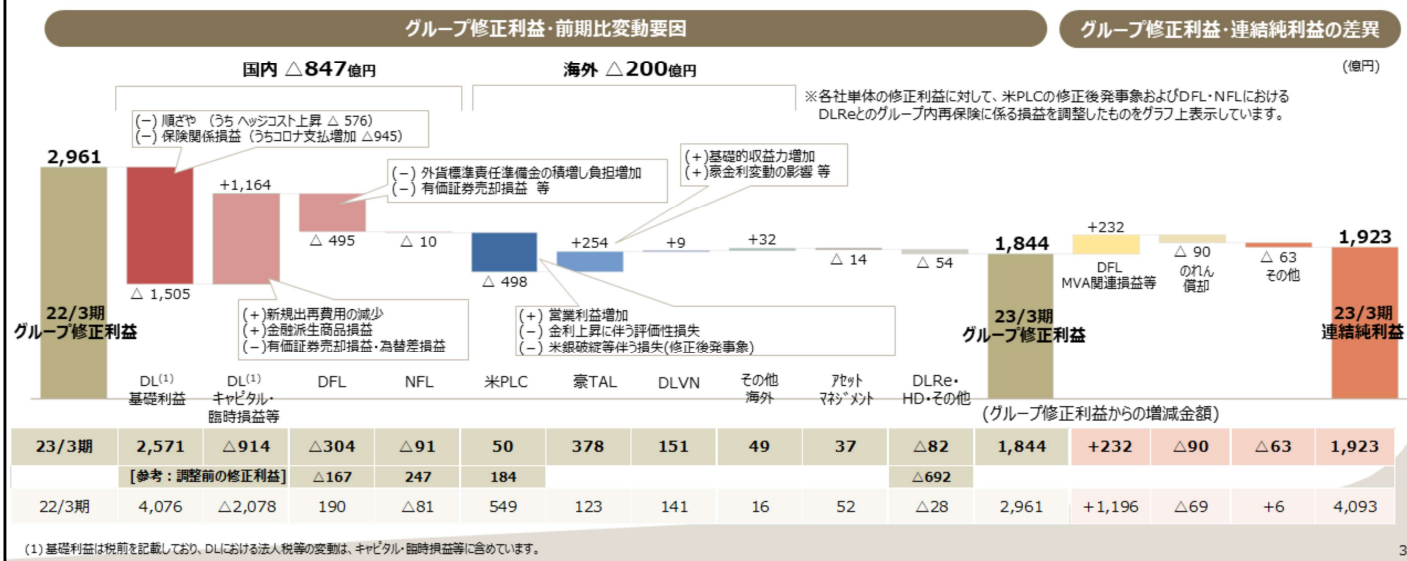
* 6月の株主総会での決議を経て決定

2

- 本日のポイントを3点にまとめました。
- まず、2023年3月期業績です。
- グループ修正利益・連結純利益ともに11月に修正した通期見通しを下回る着地となりました。詳細は後程ご説明いたしますが、米銀破綻等の影響で米プロテクティブ等において損失を計上したことや第一生命の新型コロナウイルスに係る支払増加、第一フロンティア生命の新契約販売が想定を上回ったことによる外貨標準責任準備金の積増し負担の増加等、通期見通しを11月に修正した後新たに発生した減益要因によるものです。
- 資本効率指標は、グループ修正利益の減益によりグループ修正ROEは5%と前期比で低下しました。グループROEVは、国内金利の上昇により第一生命のEEVが増加したものの、海外金利上昇や株価下落等の市場環境要因で相殺されたため、グループROEVは3.9%にとどまりました。
- 新契約業績は、第一フロンティア生命が海外金利の上昇もあり、販売量が大幅に増加したことでグループ新契約年換算保険料は堅調な結果となりました。一方、第一生命における販売が低位に止まった影響でグループ新契約価値は前期を下回る結果となりました。
- 次に、2024年3月期業績予想です。
- グループ修正利益は、新型コロナウイルスの支払い増加に伴う影響や2022年度の海外金利の急騰に伴う損失の影響等の減益要因がなくなることが見込まれ、2022年度対比で増益となる、2,700億円程度を見込みます。グループ新契約価値は、第一生命の販売低迷が底打ちとなることを見込んでおりますが、第一フロンティア生命及び米プロテクティブが販売好調だった反動減等を踏まえ、前期比ほぼ横ばいの予想としています。
- 最後に株主還元です。23年3月期のグループ修正利益は減益となりましたが、一株当たり配当金については前期比3円増配の86円とすることを決定しました。また、資本充足率の水準やキャッシュ状況、戦略的な投資機会等を踏まえ、昨年に続いて上限1,200億円の自己株式取得を決定しました。なお24年3月期の配当は、配当還元方針をベースに、86円を予想しています。
- 次のページをご覧ください。

決算のポイント – 利益：グループ修正利益・連結純利益

- ▶ DFLで販売好調を受けた外貨標準責任準備金の積増し負担が増加したことや、PLCで海外金利の上昇に伴い評価性損失を計上したことに加え、3月の米銀破綻等を受けたPLCの損失について修正後発事象として2022年度に取り込んだ影響等を受け、グループ修正利益は前期比△38%の1,844億円
- ▶ 連結純利益は、前期の増益要因であったDFLにおけるMVA関連益が大きく減少したこと等により、前期比△53%の1,923億円



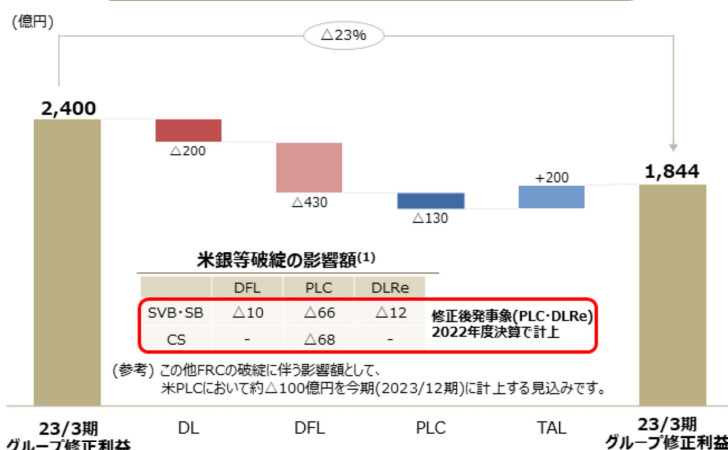
- 利益について説明します。
- 第一生命においては、新型コロナウイルス関連の支払いが増加した影響による保険関係損益の悪化や、高止まりするヘッジコスト及びヘッジ外債売却に伴う利息配当金収入の減少等による順ざやの減少を、前期の終身保険出再に伴う費用の反動減等で一部相殺したものの、前期比では減益となりました。
- 第一フロンティア生命では新契約販売量が年間を通じて好調に推移したことに伴う外貨標準責任準備金等の積増し負担が増加したこと等が影響し減益となりました。外貨標準責任準備金の積増しについては、金利上昇局面において予定利率が責任準備金計算に用いる標準利率を上回ることにより、前倒しでの繰入負担が発生するものです。契約期間を通じて積み立てる準備金の総額は変わらないことから、来期以降の積立負担は軽減する見込みです。
- 次に米国プロテクトティブについてです。今年度は期初からの金利やスプレッドの上昇に伴う評価性損失等の減益要因が重くのしかかった1年でしたが、それらに加えて、3月に発生した米銀破綻等に伴う損失について、その一部を重要性の観点から修正後発事象として2022年度の連結決算において認識することとした影響もあり、大きく減益となりました。
- 一方で豪TALは、昨年買収した旧Westpac Lifeの利益貢献等により基礎的収益力が改善した他、前期の豪金利の変動に伴う資産・負債の時価評価の悪影響から回復したこと等によって増益となりました。
- 第一生命ベトナムでは、トップラインが引き続き拡大し、利益は堅調に推移しております。
- 連結純利益は、第一フロンティア生命でMVA関連益が剥落したことから大幅に減益となりました。
- なお、当期はグループ修正利益の見通しを11月に修正しましたが、修正後の見通しを下回る着地となりました。要因については次のページにてご説明します。

- 次のページをご覧ください。

決算のポイント – グループ修正利益（第3四半期以降に発生した主な増減要因）

- ▶ 11月に実施したグループ修正利益に関する通期見通しの修正後、主にDFL・PLCにおいて新たな減益要因が発生したことにより、2022年度グループ修正利益は通期の見通しを下回り着地（進捗率 77%）
- ▶ DFLでは、想定を上回った販売が継続したため、外貨標準責任準備金の積増し負担や代理店手数料支払いが増加した。また3月に発生した米銀破綻等に関連して主にPLCを中心に保有債券から損失が発生し、重要性の観点から現地で23/12期1Qに損失を認識したもののについて、修正後発事象として2022年度決算で認識。

グループ修正利益・通期予想比変動要因



各社毎の増減要因

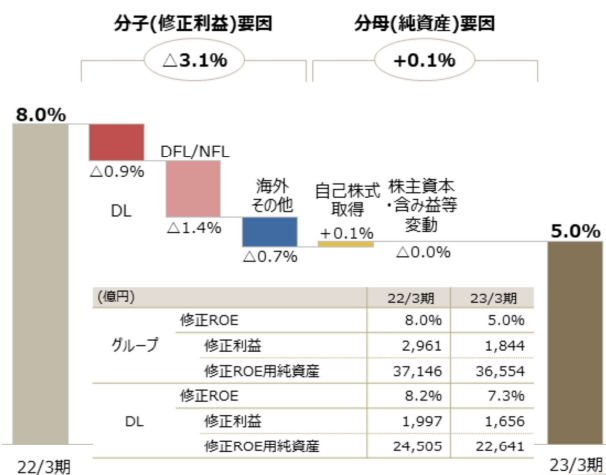
		(億円)
DL	① 入院給付金の支払増加 (新型コロナ △100 新型コロナ以外 △50)	① △150
	② その他	② △50
DFL	① 外貨標準責任準備金等の準備金積増し	① △260
	② 代理店支払手数料の増加	② △70
	③ その他	③ △80
PLC	・ 米銀破綻等に伴う債券評価損・売却損を計上	
	・ 発生事象の重要性に鑑み、当社23/3期通期連結決算において、修正後発事象として損失を反映 (PLC単体損益では23/12期1Qにて計上)	△133
TAL	・ TLIS ⁽²⁾ (旧Westpac Life)の利益貢献の上振れ、豪金利の変動による損益改善等	+200

- 未達に終わったグループ修正利益の通期見通し2,400億円について、第3四半期以降に発生した主な増減益の要因をお示しております。
- 主に減益となった要因は第一生命・第一フロンティア生命・米国プロテクトティブとなります。
- まず、第一生命においては、入院給付金の支払増加がありました。これは2月に公表した新型コロナウイルスに係る支払い増加以外の要因を含みます。
- 続いて第一フロンティア生命についてです。2022年度初頭の海外金利の急激な上昇以降、年度を通じて販売が好調であった同社ですが、金利水準が年間を通じて継続して上昇を続けた影響により、外貨標準責任準備金の積み増し負担が当初の想定を大きく上回りました。
- 続いて米国プロテクトティブです。同社は主に米ドル建確定利付資産で運用を行っておりますが、シリコンバレーバンク・シグネチャーバンク・クレディスイスの保有債券からの減損等がありました。通常はこれらの損失を含め、2023年度で認識することとなりますが、本件に関しては事象の重大性に鑑み、修正後発事象として当社の連結決算では、2022年度に認識することとしました。
- 次のページをご覧ください。

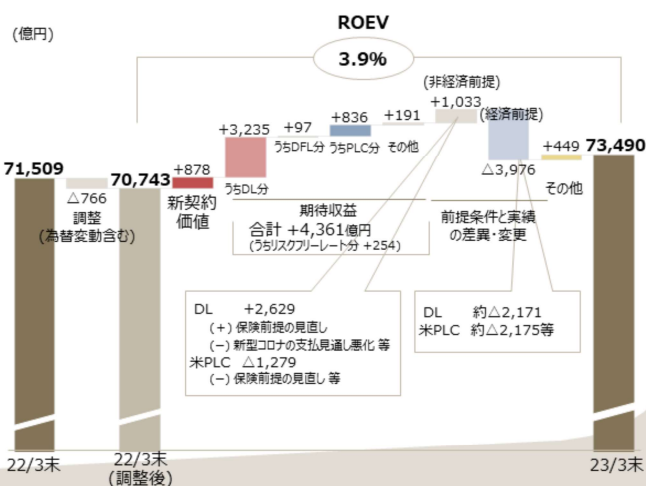
決算のポイント – 資本効率：グループ修正ROE・グループROEV

- ▶ グループ修正ROEは、グループ修正利益が減益となったことが影響し、前期比△2.9%pt低下の5.0%
- ▶ グループROEVは、国内金利の上昇等を背景にDLを中心に増加したものの、海外金利上昇による含み益の減少等がDL・PLCのEEVを押し下げたことで前期比△1.0%pt低下の3.9%

グループ修正ROE



グループROEV

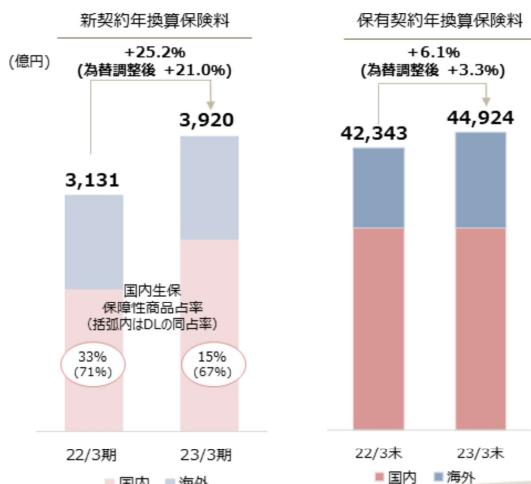


- 続いて資本効率です。
- グループ修正ROEは、自己株式取得のプラス効果がありましたが、分子である修正利益の減少の影響が大きく前期比で減少となりました。
- グループROEVは、第一生命において保険前提の見直しや国内金利の上昇がEVの増加に寄与しましたが、米国金利等の急速な上昇が第一生命の外国債券の含み損益の悪化及びプロテクティブのEVの悪化につながった結果、グループROEVは3.9%にとどまりました。
- 次のページをご覧ください。

決算のポイント – 新契約：新契約・保有契約年換算保険料

- 国内新契約は、DFLが海外金利上昇で高まった外貨建商品の訴求力を背景に販売量を大きく拡大し、国内全体で前期比+35%増加となるも、DLは年間を通じて自社商品の販売が低迷し、NFLも他社における商品改定等の影響を受け、前期比で減少（なお、DFL・NFL商品の販売を含めたDLチャネル販売全体は、前期比+8%増加）
- 海外は、円安影響もあり+6%増加。DLVNのオルタナティブチャネル（銀行チャネル）の販売量が前期比増加

新契約・保有契約年換算保険料(ANP)の状況



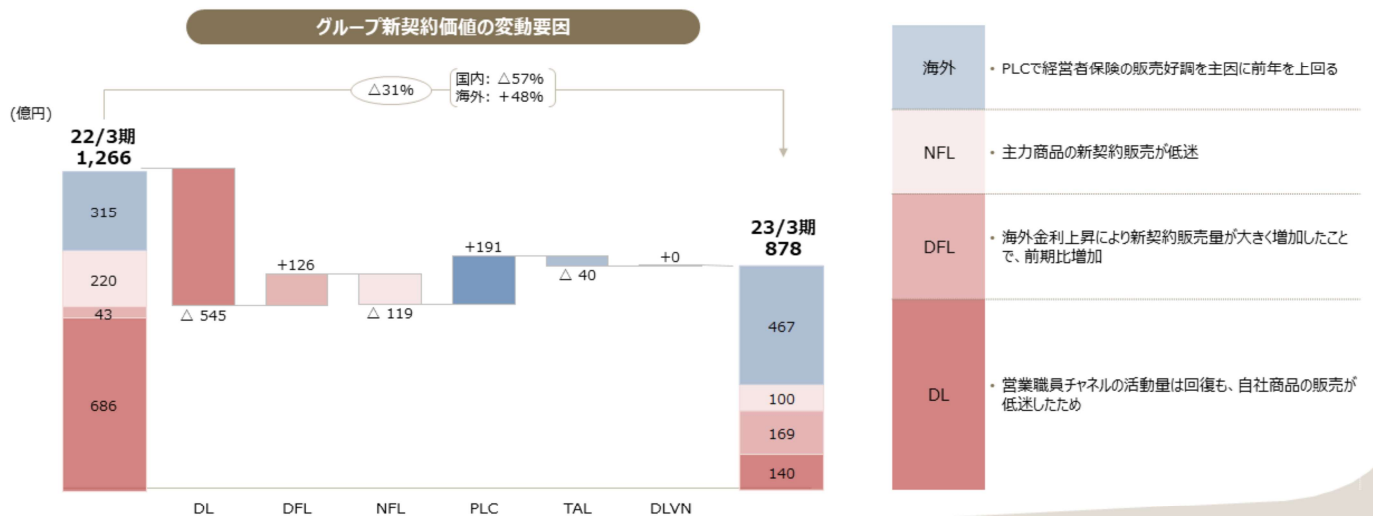
	新契約年換算保険料			保有契約年換算保険料		
	22/3期	23/3期	前期比	22/3末	23/3末	前期末比
(億円)						
国内3社計	2,067	2,790	+34.9%	30,901	30,871	△0.1% (△1.0%)
DL	745	462	△38.0%	20,527	19,977	△2.7%
うち第三分野	482	295	△38.7%	7,088	7,019	△1.0%
DFL	1,179	2,207	+87.2%	8,983	9,644	+7.4% (+4.2%)
うちDLチャネル販売	231	594	+156.9%	-	-	-
NFL	142	120	△15.5%	1,390	1,248	△10.2%
うちDLチャネル販売	75	77	+2.8%	-	-	-
海外6社計	1,063	1,130	+6.3% (△6.0%)	11,441	14,053	+22.8% (+15.0%)
PLC	632	646	+2.1% (△11.5%)	5,979	6,805	+13.8% (△1.4%)
TAL	139	99	△28.5% (△26.7%)	4,497	5,496	+22.2% (+25.3%)
PNZ ⁽¹⁾	-	7	-	-	500	-
DLVN	288	369	+28.0% (+14.3%)	961	1,242	+29.2% (+15.3%)
DLKH/DLMM	2.0	7.7	+285.4% (+246.8%)	2.9	9.0	+203.6% (+175.2%)
第一生命グループ計	3,131	3,920	+25.2% (+21.0%)	42,343	44,924	+6.1% (+3.3%)

(1) PNZの新契約年換算保険料は23/3期4Q以降の新契約分

増減率の下段(△)は為替変動の影響を除く変化率

- 新契約業績について説明します。
- 国内新契約は、海外金利の上昇で利回りが上昇した第一フロンティア生命が引き続き牽引し、前期を大幅に上回りました。一方で、第一生命とネオファースト生命の新契約は、低位で推移しました。
- 第一生命では、年間を通じて自社商品の販売が低迷しました。その背景には、第一生命の保障性商品のコンサルティング手法と商品体系の刷新や営業職員制度改革の成果の創出に時間を要したことが要因です。
- 今期は、新制度下で採用された生涯設計デザイナーが7月より本格的な営業活動を開始します。また組織に課す営業目標についても、ボトムアップ型組織目標の導入を通じて目指すべき水準感を設定しています。iDeCoや自転車保険、ペット保険のようなお客さまニーズに幅広くお応えできる商品の提供を通じて、顧客接点の増加に向けた取組みなど、営業行政面での改善を行っています。
- 海外では第一生命ベトナムが銀行チャネルで販売量を大きく伸ばし、海外全体では、為替影響の後押しもあり前期を上回る水準となりました。
- 次のページをご覧ください。

- ▶ グループ新契約価値は、DFL・PLCが堅調に推移もDL・NFLが低迷し11月修正予想水準に届かず、前期比で減少
- ▶ DLは、コンサルティング改革による活動量の減少から回復基調も、収益寄与の大きい自社の保障性商品販売が大きく減少したことで、前期比で大幅に減少。DFLは、海外金利上昇の中で販売量の大幅増を背景に増加。海外は、PLCが経営者保険の販売好調を背景に牽引し増加



- グループ新契約価値についてです。
- 第一フロンティア生命、米国プロテクティブは好調であったものの、第一生命やネオファースト生命の販売量低下による影響が大きく、前期比で減少となりました。
- 特に第一生命では、販売活動量は回復基調にあるものの、マージンの厚い自社主力商品の販売が落ち込みました。自社商品の販売量が落ち込んだことにより、大きく減少しました。
- 第一フロンティア生命では、新契約販売量は大きく増加し、新契約価値も前期比で増加しました。
- 米国プロテクティブは、大型経営者保険の販売等により新契約販売が好調に推移したことが新契約価値の改善に繋がりました。
- 次のページをご覧ください。

2024年3月期 通期業績予想



▶ グループ修正利益は、DLにおける保険関係損益の回復やDFLで外貨標準責任準備金の積増し負担減少等を見込み、2,700億円程度を予想

2024年3月期 通期業績予想

[参考] 2023年3月期実績・対業績予想

(億円)	24/3期 通期予想	23/3期 通期実績比	(%)	22/3期 通期実績	23/3期 通期実績	前期比	(%)	23/3期 通期予想(11月)	対通期予想 進捗率
連結経常収益	83,530	△ 11,664	△ 12%	82,097	95,194	+ 13,097	+ 16%	96,500	99%
第一生命	35,650	△ 5,748	△ 14%	44,508	41,398	△ 3,110	△ 7%	37,310	111%
第一フロンティア生命	23,850	△ 16,142	△ 40%	22,146	39,992	+ 17,846	+ 81%	36,560	109%
米プロテクトティブ (百万米ドル) ⁽¹⁾	10,280	△ 2,651	△ 21%	13,400	12,931	△ 468	△ 3%	14,710	88%
東TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	8,290	△ 41	△ 0%	6,404	8,331	+ 1,927	+ 30%	7,680	108%
連結経常利益	4,650	+ 541	+ 13%	5,908	4,109	△ 1,799	△ 30%	4,300	96%
第一生命	3,490	△ 45	△ 1%	3,789	3,535	△ 253	△ 7%	3,730	95%
第一フロンティア生命	190	+ 51	+ 37%	1,231	139	△ 1,091	△ 89%	100	139%
米プロテクトティブ (百万米ドル) ⁽¹⁾	260	+ 70	+ 37%	578	190	△ 387	△ 67%	130	146%
東TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	390	△ 177	△ 31%	163	567	+ 404	+ 248%	260	218%
連結純利益⁽²⁾	2,730	+ 807	+ 42%	4,093	1,923	△ 2,170	△ 53%	2,190	88%
第一生命	1,830	+ 174	+ 11%	1,997	1,656	△ 341	△ 17%	1,790	93%
第一フロンティア生命	150	+ 86	+ 134%	1,386	64	△ 1,322	△ 95%	70	91%
米プロテクトティブ (百万米ドル) ⁽¹⁾	200	+ 62	+ 45%	277	138	△ 138	△ 50%	100	138%
米プロテクトティブ(修正後発事象分)(百万米ドル) ⁽¹⁾	+ 100	-	-	-	△ 100	-	-	-	-
東TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	270	△ 139	△ 34%	126	409	+ 282	+ 225%	180	227%
グループ修正利益	2,700程度	+ 856	+ 46%	2,961	1,844	△ 1,116	△ 38%	2,400程度	77%
グループ新契約価値	850程度	△ 28	△ 3%	1,266	878	△ 387	△ 31%	1,350程度	65%
1株あたり配当(円)	86	-	-	83	86	+ 3		86	
(参考)基礎利益	4,300程度	+658	+ 18%	5,501	3,642	△ 1,859	△ 34%	3,700程度	98%
第一生命	2,800程度	+ 229	+ 9%	4,076	2,571	△ 1,504	△ 37%	2,400程度	107%

(1) 米PLCおよび東TALの数値は、各国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示 (2) 親会社株主に帰属する当期純利益

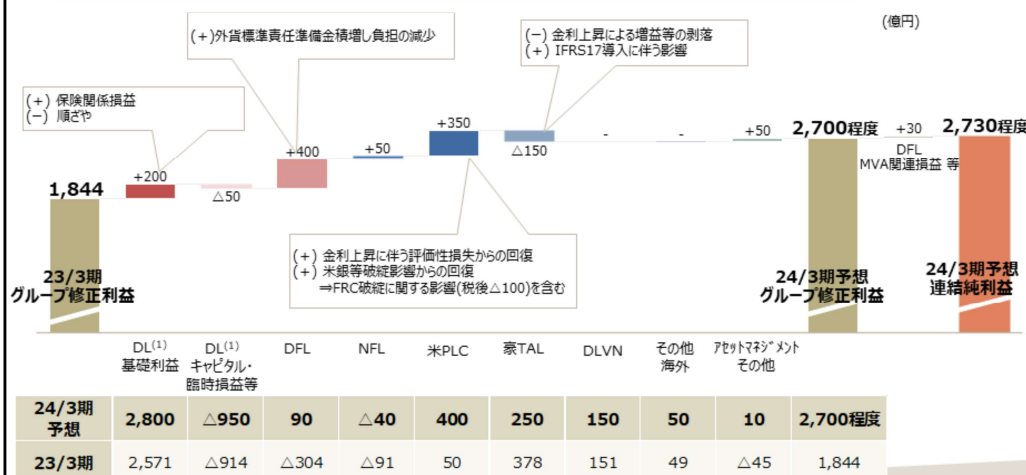
8

- 2024年3月期の業績予想です。
- 連結経常収益は、第一フロンティア生命における大幅な販売増等からの反動により減収となる見込みです。
- グループ修正利益は、第一生命における新型コロナウイルスに関する支払い増や第一フロンティア生命及び米国プロテクトティブにおける海外金利上昇に伴う損失等の減益要因がなくなることによって2,700億円程度を見込みます。
- なお、米プロテクトティブにおいて、今期の単体利益予想に米国銀行破綻による損失を織り込んでいますが、そのうち22年度に修正後発事象として連結上既に取り込んだ部分については、今期の通期予想上は足し戻しています。
- グループ新契約価値は、850億円程度とし、前期並みの水準を見込みます。
- 次のページをご覧ください。

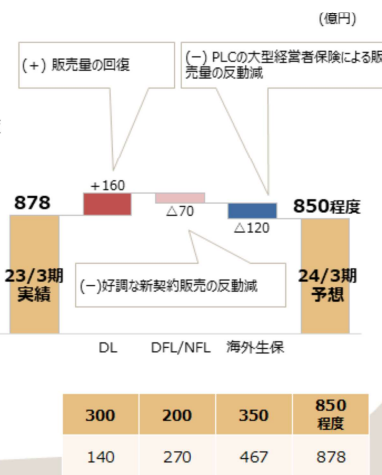
2024年3月期 グループ修正利益・新契約価値予想

- ▶ DLでは新型コロナ関連の保険金支払の減少による増益を、利配減少を主因とする順ざやの減少等で一部相殺するものの、基礎利益は増加を見込む
DFLでは外貨標準責任準備金増し負担、米PLCでは金利上昇による評価性損失や米銀破綻等の影響という当期の減益要因からの回復が見込まれ増益の見通し
- ▶ グループ新契約価値は、組織運営の見直しを行う等の施策でDL商品の販売量低迷は底を打つ見通しも、改善幅は限定的なものに止まる見込み。海外金利上昇による影響で販売量が大幅に増加したDFL商品やPLCの大型経営者保険販売の影響からの反動を見込み、前期並みの水準となる見通し。

グループ修正利益予想・前期比変動要因



グループ新契約価値予想・前期比変動要因



(1) 基礎利益は税前を記載しており、DLにおける法人税等の変動は、キャピタル・臨時損益等に含めています

9

- グループ修正利益・新契約価値予想の変動要因を示しています。
- 第一生命では、前期の新型コロナウイルス感染拡大に伴う支払い増加からの反動で保険関係損益は大きく改善が見込まれます。一方で、順ざやはヘッジ外債は売却したもののヘッジコストは高止まりし、また残高削減の影響で利息配当金収入の減少が見込まれており、基礎利益は微増にとどまる見通しです。
- なお、ヘッジ外債の売却損の縮小により有価証券売却損益の改善が見込まれるものの、投信解約益の減少等により、キャピタル損益等は前年比でやや悪化する見通しです。
- 第一フロンティア生命では、前期の損益に大きな影響を与えた外貨標準責任準備金の増しの影響が緩和されることが収益の改善に寄与する見通しです。
- 海外では、米プロテクトティブにおいて、前期に損失を計上した金利上昇に伴う評価性の損失と、銀行破綻等に伴う損失等の一時的に減益要因からの反動で収益は大きく改善する見通しです。なお、銀行破綻の影響のうち、2022年度の修正後発事象に含まれていないファーストリパブリックバンクに関する損失については、2023年度の通期予想に織り込んでおります。
- 豪TALでは、豪金利等の経済変動の影響に伴う一過性の増益要因が剥落するため減益の見通しです。第一生命ベトナムは前期並みの利益水準を確保する見込みです。
- 続いて、グループ新契約価値について説明いたします。まず、第一生命では、販売量の増加に伴い、前期より改善を見込みます。一方で、前期に販売量を大きく伸ばした第一フロンティア生命と米国プロテクトティブでは、販売量の反動減が想定されることから、グループ新契約価値について、前期並みの約850億円を想定しております。
- 次のページをご覧ください。

株主還元

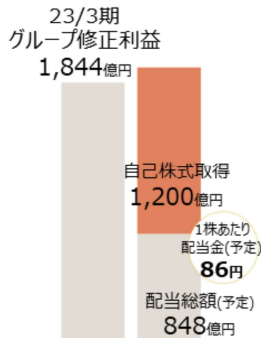
- ▶ 23/3期の株主還元は、子会社からの送金率を高めることで、グループ修正利益の過去3年平均に対する30%を上回る1株あたり配当金86円(前期比+3円増)を決定⁽¹⁾し、追加還元として、上限1,200億円とする自己株式取得を決定(2022年度半年度利益に対する総還元性向は111%)
- ▶ 24/3期の1株あたり配当金は、配当性向30%以上を前提とし、86円(前期比増減なし)を予想

株主還元

[自己株式消却方針] 使途が見込まれない自己株式は保有しないものとし、使途が見込まれない自己株式を保有している状態が生じた場合には、適切な時期に自己株式の消却を行います

23/3期 株主還元

1株あたり配当金は前期比3円増配の86円
上限1,200億円とする自己株式取得を決定



自己株式取得

- 以下の状況を踏まえ、自己株式取得上限1,200億円を決定
 - 資本充足率(ESR) : 225%(概算値)
 - 持株会社キャッシュ : 約1,200億円(23/3末)⁽²⁾
 - 子会社からの送金 : 子会社からの送金率の上昇(DLからの特別配当等)
 - 戦略的な投資機会や当社株価の状況など

現金配当

- グループ修正利益は減益となったものの、1株あたり配当金は86円(前期比+3円)

24/3期 株主還元(予想)

3年平均グループ修正利益は減少も、還元方針通り減配せず、1株あたり配当金は、86円の維持を予想

24/3期
グループ修正利益予想
2,700億円程度



追加還元

- 今後の資本充足率の水準等を踏まえ、機動的・柔軟な追加還元を検討(総還元性向の目安: 中期平均50%)

現金配当

- 24/3期グループ修正利益通期予想を含めた過去3年平均のグループ修正利益は減少も、株主還元方針上の原則として減配は行わない方針に従い、1株あたり配当金は86円を予想(23/3期比±0円)

(1) 6月の株主総会での決議を経て確定 (2) 中間持株会社におけるキャッシュ残高を含む

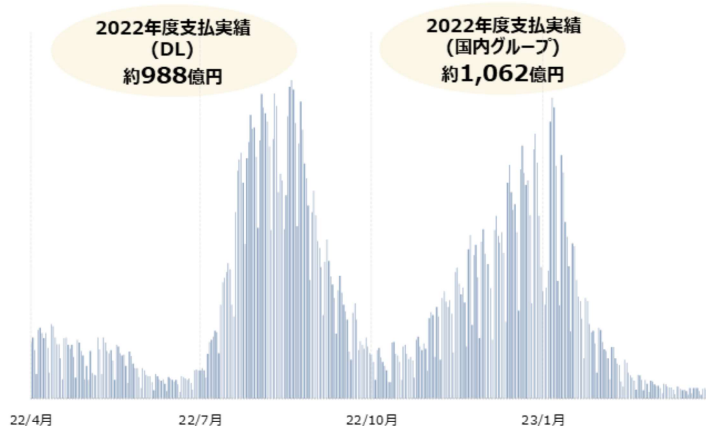
10

- 次に株主還元です。
- 2023年3月期の株主還元は、1株あたり配当金86円を予定し、加えて1,200億円を上限とする自己株式取得を決定しました。
- 自己株式取得は、速報ベースでの暫定値で3月末時点の資本充足率225%、持株会社キャッシュ約1,200億円をベースとして、子会社からの送金見通しや戦略的な投資機会、当社株価の状況等を勘案して判断しています。子会社からの送金について、2022年度グループ修正利益は減益となりましたが、前期の約95%から送金率の上昇を想定しており、送金額は第一生命からの特別配当も含めて前期の2,400億円からの増額を見込んでいます。
- 2024年3月期の1株あたり配当金は、修正利益の予想2,700億円から過去3年平均に対する配当性向30%を前提とすると、当期の86円を下回ることとなりますが、原則として減配は行わない当社の還元方針に従い、今期同様の86円を予想しております。追加還元については、資本充足率やHDキャッシュの水準等を踏まえ、機動的・柔軟に検討していきます。
- 次のページをご覧ください。

新型コロナ感染に対する入院給付金等のお支払いに関して（第一生命）

- ▶ 2023年5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の取扱いが「5類感染症」に変更となったことを受け、同日以降に診断された場合の入院給付金等の支払いにおける特別取扱い（「みなし入院」）を終了。
- ▶ 2022年度のお支払実績は、2月時点の見通しである約1,050億円を下回る988億円。国内グループ全体のお支払額は、1,062億円。

国内感染者数⁽¹⁾と入院給付金等のお支払い実績



入院給付金お支払範囲

入院給付金等のお支払い範囲	2022/9/25まで	2022/9/26以降	2023/5/8以降
入院の場合（約款における取扱い）	○対象	○対象	○対象
宿泊・自宅療養の場合（特別取扱い）	○対象	○対象	×対象外
重症化リスクの高い方 ⁽²⁾	○対象	○対象	×対象外
上記以外の方	○対象	×対象外	×対象外

国内における新型コロナに関連したお支払いの状況⁽³⁾

		死亡保険金(給付金)		入院給付金等	
		件数	金額	件数	金額
第一生命	22年4月-23年3月	3,679件	約138億円	862,947件	約988億円
(参考)国内グループ会社		4,599件	約213億円	938,958件	約1,062億円
(参考)第一生命	集計開始以降	5,788件	約255億円	964,747件	約1,097億円

(1) 厚生労働省データより当社作成
(2) 65歳以上の方、入院を要する方、重症化リスクがあり、かつ、新型コロナウイルス感染症の投与または新型コロナウイルス感染症により医療投与が必要な方、妊婦されている方
(3) 国内グループ3社(第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命)合計、2023年3月31日時点での判明分

- 新型コロナ感染に対する取扱いについてです。
- 第一生命では入院給付金等のお支払いに関して、5月8日に新型コロナウイルスが感染症法上の取扱いとして季節性インフルエンザ同様の「5類感染症」に変更となったことを受け、2020年以来続けてきた新型コロナに関する特別取扱い「通称：みなし入院」を終了しました。
- 2022年度の支払い額は、上半期の流行拡大に伴う支払いの増加があったため、9月の支払い範囲変更後に感染されたご契約者に対するお支払は減少したものの、年間で約1,000億円のお支払いとなりました。
- 次のページをご覧ください。

グループ修正利益の「HDコスト等」に含む項目追加等

- ▶ 23/3期において、PNZ・ipetの買収時に買収先の保有契約価値（以下VIFという）を無形資産として認識
このVIFの償却は過去の子会社にて実施した買収により生じたVIFの償却と整合的な扱いとすべく、以下の通りHDに生じるVIF償却費用を認識
- ▶ また、同期間に実施したグループ内再保険に係る一時損益の繰延についても、以下の通り連結会計上の取扱いと整合させる形でグループ修正利益に認識

グループ修正利益

グループ各社修正利益 + HDコスト等

「HDコスト等」に含む項目の追加

① HDに生じるVIFの償却を「HDコスト等」で認識

[持株会社による買収](PNZ・ipetの買収が該当) → HDがVIF償却
[過去の子会社による買収] → 子会社がVIF償却

買収形態に関わらず、グループ修正利益はVIF償却費用認識後

② 連結調整の対象となるグループ内再保険に係る一時損益の繰延については、会計上の純利益の取扱いと整合的に、グループ修正利益上は「HDコスト等」で認識

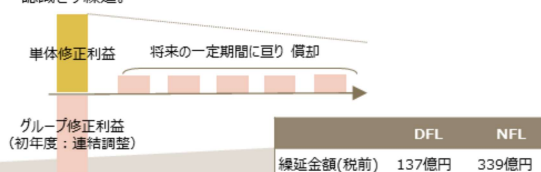
グループ修正利益上の取扱い

① HDに生じるVIF償却	連結会計上の取扱いに準じる (=グループ修正利益においては「HDコスト等」で認識)
② 連結調整（グループ内再保険）	

(参考) DLReにおける資産負債評価のミスマッチ(包括利益と純利益の差分)については、DFLにおけるMVA関連損益と同様に、修正利益上認識しない

2022年度 4Qに実施した新たなグループ内再保険について

- ✓ DFLの一時払終身・年金およびNFLの医療保険の既契約ブロックの一部DL Reに出再。DFL・NFL単体上は責任準備金取崩しによる一時利益が発生
- ✓ 連結会社間取引から生じた未実現損益に該当するため、連結損益計算書上は認識せず繰延。

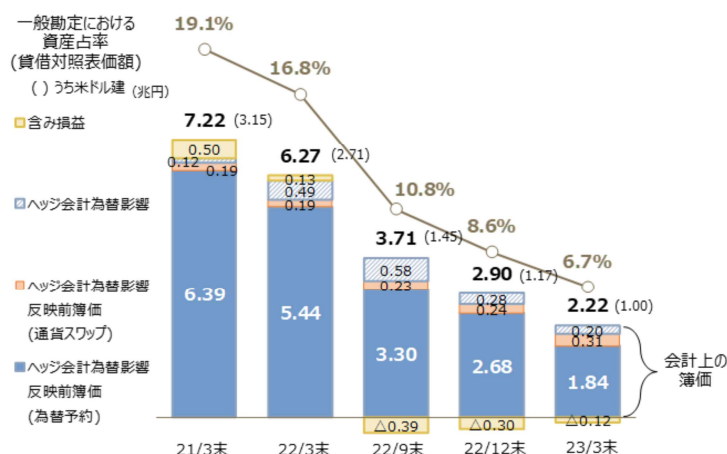


- グループ修正利益の「HDコスト等」に含む項目追加について、ご説明します。
- 23/3期において、ニュージーランドのパートナーズライフ、及びアイペットホールディングスの買収時に、買収先の保有契約価値（VIF）を無形資産として認識しました。過去に子会社にて実施した買収により生じたVIFの償却と整合的な扱いとすべく、グループ修正利益においてはVIF償却費を「HDコスト等」において認識します。
- 続いてグループ内再保険に伴う損益についてです。各社単体の会計上は実施年度で一時益が発生する一方、連結会計上は、当該一時益については連結会社間取引から生じた未実現損益として消去し、将来に亘って繰り延べることにしました。グループ修正利益についても、連結会計上の取扱いに準じて、当該一時益の繰延べについて、「HDコスト等」で認識します。
- なお、DLReで発生する資産と負債の評価上のミスマッチ（包括利益と純利益の差分）については、第一フロンティア生命等におけるMVA関連損益と同様に、修正利益上認識しないものとしております。
- 次のページをご覧ください。

第一生命の為替ヘッジ付外貨建債券運用の状況 (残高増減)

- ▶ 年度通算で3兆円を超える大幅な残高削減の効果もあり、為替に係るヘッジコストは、2Q末時点の見通し(年間約900億円)より低位な水準
- ▶ 一方で海外金利が高止まりする状況下、2023年度も引き続き残高削減を継続する方針

為替ヘッジ付外債残高詳細(貸借対照表価額)⁽¹⁾



為替ヘッジ付外債 損益状況

	22/3期	23/3期	(参考) オープン外債 ⁽²⁾
利息・配当金等収入	1,715	1,316	509
為替に係るヘッジコスト	△ 235	△ 760	-
有価証券売却損益	△ 995	△ 3,275	944
貸借対照表価額	62,785	22,269	11,184
会計上の簿価	61,387	23,555	11,029
含み損益	1,397	△ 1,286	155
(参考) ヘッジ会計為替影響 反映前簿価	56,398	21,537	

(1) 通貨スワップを用いた為替ヘッジ付外債(フルヘッジ)の残高を含む(21/3末: 2,078億円、22/3末: 2,086億円、23/3末: 3,261億円) (2) 外国公社債投資信託を含む

13

- 最後に第一生命のヘッジ外債運用についてです。
- 第一生命では、ヘッジ外債の残高を3兆円超削減し、3月末時点の残高は2兆円を下回る水準となりました。残高削減の結果、第一生命における為替ヘッジ付外債に対する年間のヘッジコストは、昨年9月末時点の約900億円の見通しからやや低下した760億円で着地しました。
- 海外金利上昇のペースは、前期と比較して緩やかなものになりつつありますが、引き続きヘッジコストの水準は高止まりしているため、2023年度もヘッジ外債の残高縮減を継続する見通しです。
- 私からの説明は以上です。

グループ各社の業績概要

[グループ各社の業績概要]

国内生命保険事業 - 第一生命

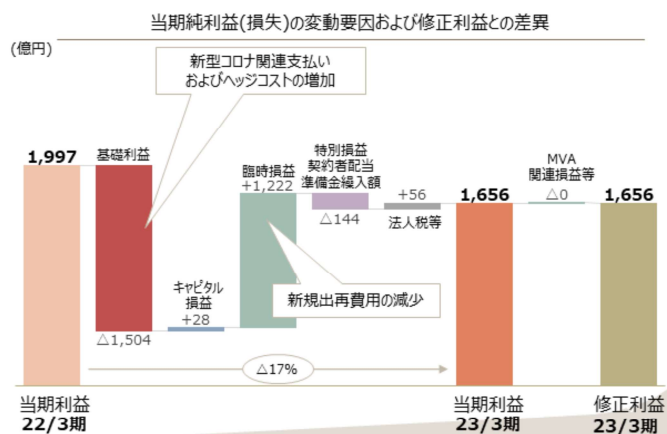


- ▶ 基礎利益は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う入院給付金支払い増加等により保険関係損益が大きく悪化したことや、ヘッジコスト上昇に伴う順ざや減少の影響等により、前期比△37%減少の2,571億円
- ▶ 修正利益は、上記の減益要因を金融派生商品損益や臨時損益の改善が補い、前期比△17%減少の1,656億円

単体業績

(億円)	22/3期	23/3期	前期比	(%)
保険料等収入	22,761	22,968	+207	+1%
基礎利益	4,076	2,571	△1,504	△37%
順ざや	1,307	820	△486	△37%
うちヘッジコスト	△260	△837	△576	
保険関係損益	2,768	1,750	△1,017	△37%
キャピタル損益	1,573	1,601	+28	+2%
有価証券売却損益	1,295	1,182	△112	
投資解約損益	460	463	+3	
金融派生商品損益	△386	△169	+216	
為替差損益(除ヘッジコスト)	156	16	△139	
有価証券評価損	△84	△37	+47	
臨時損益	△1,860	△637	+1,222	-
新規追加責任準備金繰入額	△725	△690	+35	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	-	-	-	
再保険関連収支	△1,086	49	+1,136	
経常利益(損失)	3,789	3,535	△253	△7%
特別損益	△230	△299	△69	
価格変動準備金繰入(△)/戻入額(+)	△170	△130	+40	
契約者配当準備金繰入額	△875	△950	△75	
法人税等合計	△686	△629	+56	
当期純利益(損失)	1,997	1,656	△341	△17%
(参考) 基礎利益における再保険取引の影響額 ⁽¹⁾	約+160	約+240	約+80	

(億円)	22/3期	23/3期	前期比	(%)
修正利益	1,997	1,656	△341	△17%

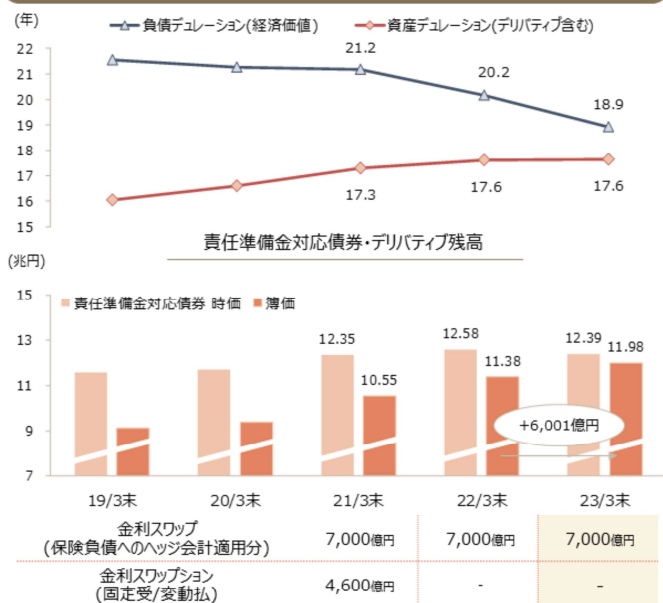


(1) 再保険取引の影響額：19/3期より実施している戦略的な終身保険の再保険取引(出再)による、予定利息の軽減効果や保険関係損益に与える影響額(概算)

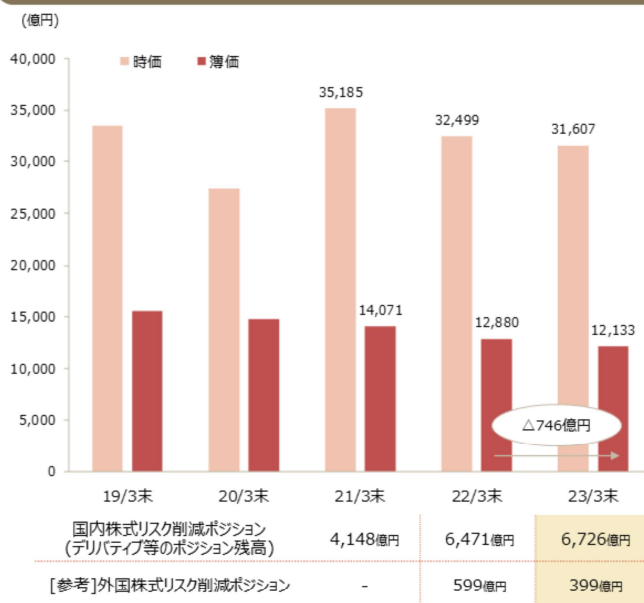
[グループ各社の業績概要]

第一生命 - 市場関連リスク削減の取組状況

デュレーションと責任準備金対応債券の積増し状況⁽¹⁾



国内株式の簿価・時価⁽²⁾



(1) 一般勘定資産のうち主に個人保険・個人年金に係る経理区分の保険負債と円建て確定利付資産(金利スワップを含む)の経済価値ベースのデュレーション、および責任準備金対応債券・デリバティブ残高
責任準備金対応債券とは、保険会社ごとに認められた区分で、一定の要件を満たせば簿価原価法による評価が認められているものを指します

(2) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く) 23/3末において純投資目的以外の目的で保有する株式(みなし保有株式は除く)の簿価残高は746億円

[グループ各社の業績概要]

国内生命保険事業 – 第一フロンティア生命



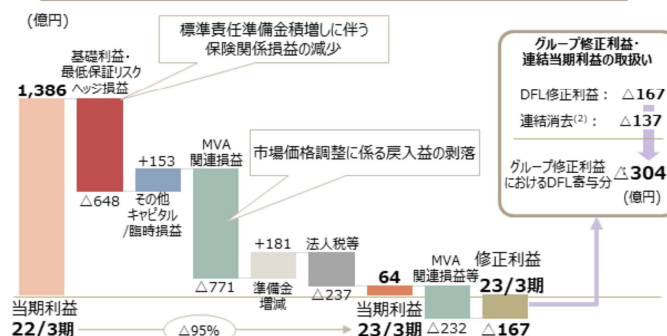
- ▶ 基礎利益は、順ざやが増加したものの販売増加に伴う標準責任準備金積増しによる保険関係損益の減少等により、△232億円(前期は439億円)
- ▶ 当期利益は、基礎利益の悪化に加え、キャピタル損益やMVA関連損益に含まれる市場価格調整に係る戻入益の剥落等により、64億円(前期比△95%)
MVA関連損益等を除いた修正利益は、△167億円(前期は190億円)

単体業績⁽¹⁾

(億円)	22/3期	23/3期	前期比	(%)
保険料等収入	15,030	26,126	+ 11,095	+ 74%
基礎利益	439	△ 232	△ 671	-
順ざや・保険関係損益等	478	△ 155	△ 633	
最低保証リスクに係る損益(責任準備金増減等)	△ 39	△ 77	△ 37	
キャピタル損益	1,109	△ 287	△ 1,396	
最低保証リスクヘッジ損益	△ 27	△ 4	+ 22	
MVA関連損益	893	119	△ 774	
その他キャピタル損益(有価証券売却損益等)	243	△ 402	△ 645	
臨時損益	△ 317	659	+ 976	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 28	146	+ 174	
MVA関連損益(再保険関連)	-	2	+ 2	
その他臨時損益(再保険関連収支等)	△ 288	510	+ 798	
経常利益(損失)	1,231	139	△ 1,091	△ 89%
特別損益	△ 59	△ 52	+ 7	
価格変動準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 59	△ 52	+ 7	
法人税等合計	215	△ 22	△ 238	
当期純利益(損失)	1,386	64	△ 1,322	△ 95%
基礎利益・最低保証リスクヘッジ損益	411	△ 236	△ 648	
その他キャピタル・その他臨時損益	△ 45	107	+ 153	
MVA関連損益	893	122	△ 771	
危険/価格変動準備金繰入/戻入額・法人税等合計	127	71	△ 55	

(億円)	22/3期	23/3期	前期比	(%)
修正利益	190	△ 167	△ 358	-

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異



(1) 22/3期1Qより各損益の内訳の項目名を修正の上、従来の事業利益を組替え、一時的な有価証券売却損益等のキャピタル損益やその他臨時損益の再保険関連収支を区分する開示方法に変更しています

(2) DFLReへのグループ内再保険取引に係る収益については連結会計上は認識しない。

[グループ各社の業績概要]

国内生命保険事業 – ネオファースト生命



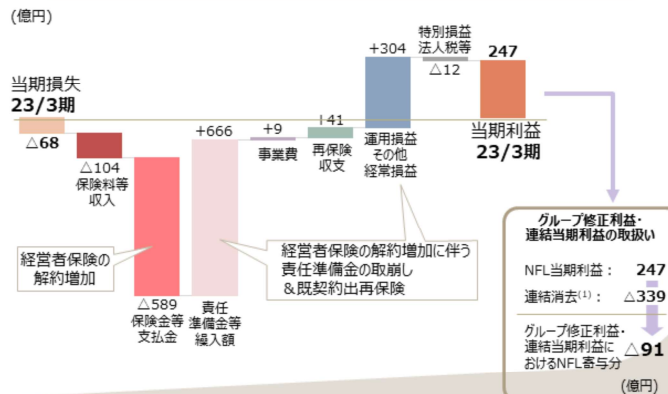
- ▶ 保険料等収入は、医療保険の保有契約が増加したものの、経営者保険の解約等により、前期比△7%減少
- ▶ 当期純利益は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う入院給付金支払いの増加があったものの、グループ内出再の影響で、247億円(前期は△68億円の純損失)

単体業績

(億円)	22/3期	23/3期	前期比	(%)
保険料等収入(再保険収入を除く)	1,417	1,312	△ 104	△ 7%
保険金等支払金(再保険料を除く)	△ 446	△ 1,036	△ 589	
保険金・年金・給付金	△ 97	△ 202	△ 104	
解約返戻金・その他返戻金	△ 348	△ 834	△ 485	
責任準備金等繰入額	△ 684	△ 17	+ 666	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 1	+5	+ 7	
事業費	△ 343	△ 333	+ 9	
再保険収支	△ 11	29	+ 41	
資産運用損益・その他経常損益	△ 12	292	+ 304	
資産運用損益	4	5	+ 1	
その他経常損益	△ 16	287	+ 303	
経常利益(損失)	△ 80	247	+ 328	-
特別損益	△ 0	△ 0	+ 0	
法人税等合計	△ 12	△ 0	△ 12	
当期純利益(損失)	△ 68	247	+ 315	-
基礎利益	△ 79	△ 96	△ 17	-

(億円)	22/3期	23/3期	前期比	(%)
修正利益	△ 81	247	+ 329	-

当期純利益(損失)の変動要因



(1) DLReへのグループ内再保険取引に係る収益については連結会計上は認識しない。

[グループ各社の業績概要]

海外保険事業 – 米プロテクトティブ

(23/12期1Q(1-3月)決算は、現地時間5/15頃の公表を予定)



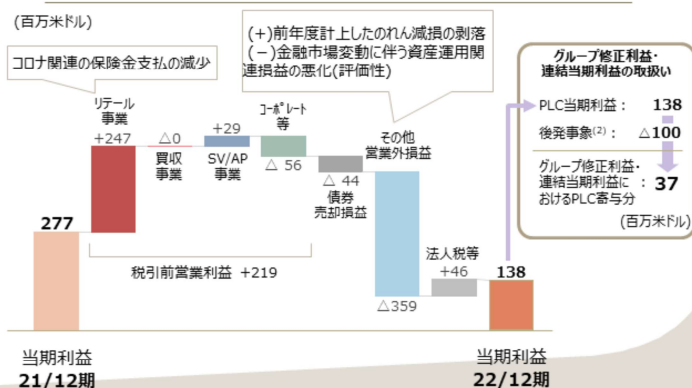
- ▶ 営業利益は、主にリテール事業におけるコロナ関連の保険金支払の減少等が寄与し、前期比+52%増加の641百万米ドル
- ▶ 単体の当期純利益は、前期に計上したのれんの減損の影響が剥落したものの、主に金利を中心とした金融市場変動に伴う営業外損益の悪化(評価損等)から、前期比△50%減の138百万米ドル
- ▶ また、グループ連結上は、23年3月に破綻した銀行の債券、および無価値となったAT1債券に係る損失△100百万米ドルを後発事象として取り込む

単体業績

(百万米ドル)	21/12期	22/12期	前期比	(%)
保険料等収入	6,321	6,100	△ 220	△ 3%
税引前営業利益⁽¹⁾	422	641	+ 219	+ 52%
リテール保険&年金	△ 41	205	+ 247	-
買収	314	313	△ 0	△ 0%
ステーブルバリュー(SV)	170	191	+ 20	+ 12%
アセットプロテクション(AP)	41	50	+ 8	+ 22%
コーポレート等	△ 62	△ 119	△ 56	-
営業外損益(償却調整後)	△ 47	△ 451	△ 404	
債券売却損益	45	1	△ 44	
債券評価損・株式評価損益等	△ 0	△ 256	△ 255	
商業モーゲージローン貸倒引当金増減	133	△ 7	△ 140	
修正共同保険式再保険に関する損益	△ 30	△ 234	△ 203	
デリバティブ損益(変動/定額年金等)	91	217	+ 125	
市場変動に伴う変動商品のDAC償却等の変動	20	△ 82	△ 103	
営業外損益に係るDAC等償却の変動	△ 107	△ 89	+ 17	
のれんの減損	△ 200	-	+ 200	
法人税等	△ 97	△ 51	+ 46	
当期純利益(損失)	277	138	△ 138	△ 50%
当期純利益 ※円換算後: 億円	319	184	△ 135	△ 42%
決算為替レート(対円)	115.02	132.70	+ 17.68	+ 15%

(億円)	21/12期	22/12期	前期比	(%)
修正利益	549	184	△ 365	△ 66%

当期純利益(損失)の変動要因



(1) 純利益から資産運用やデリバティブにおけるキャピタル損益を控除した利益指標

(2) 22年12月以降、明確に信用リスクが顕在化したことにより連結上後発事象として反映させる損失額。23年3月に破綻したシリコンバレーバンク・シグネチャーバンクの債券、及び無価値となったクレディ・スイスのAT1債を対象

[グループ各社の業績概要]

海外保険事業 – 豪TAL



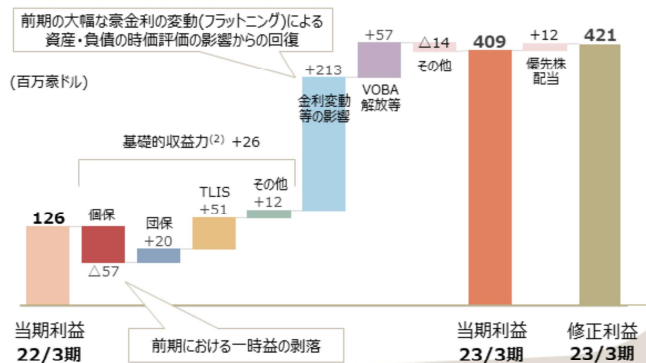
- ▶ 基礎的収益力は、個人保険において前期に計上されたアステロン・ライフの保険負債評価のモデル変更に伴う一時益が剥落したものの、TLIS⁽¹⁾(旧 Westpac Life)の利益貢献を含めて全般的に好調に推移し、前期比+11%増加の267百万豪ドル
- ▶ 当期純利益は、基礎的収益力の増益に加え、前期の大幅な豪金利の変動(フラットニング)に伴う資産・負債の時価評価の悪影響からの回復や、その他の経済変動がポジティブに寄与し、409百万豪ドル

単体業績

(百万豪ドル)	22/3期	23/3期	前期比	(%)
保険料等収入	6,219	7,399	+ 1,180	+ 19%
基礎的収益力(税引後)⁽²⁾	241	267	+ 26	+ 11%
個人保険	252	194	△ 57	△ 23%
団体保険	40	61	+ 20	+ 50%
TLIS(旧 Westpac Life)	-	51	+ 51	-
その他(基礎的項目)	△ 51	△ 39	+ 12	-
基礎的収益外損益(税引後)	△ 115	141	+ 256	
金利変動等に伴う資産・保険負債の変動	△ 40	172	+ 213	
VOBAの解放・VIF償却	△ 19	37	+ 57	
優先株配当等	△ 15	△ 14	+ 1	
その他	△ 39	△ 55	△ 15	
当期純利益(損失)	126	409	+ 282	+ 225%
当期純利益(損失) ※円換算後: 億円	115	366	+ 250	+ 216%
決算為替レート(対円)	92.00	89.69	△ 2.31	△ 3%

(億円)	22/3期	23/3期	前期比	(%)
修正利益	123	378	+ 254	+ 207%

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異



(1) 正式名称: TAL Life Insurance Services Limited

(2) 従来は、豪TALよりグループ会社(DL)に再保険(出再)を行ったことに伴う損益を基礎的収益力(税引後)に含め、基礎的収益外損益(税引後)から控除する取扱いをしていましたが、23/3期4Qより当該損益は基礎的収益力(税引後)に含めない取扱いに変更しています。

[グループ各社の業績概要]

海外保険事業 – 第一生命ベトナム

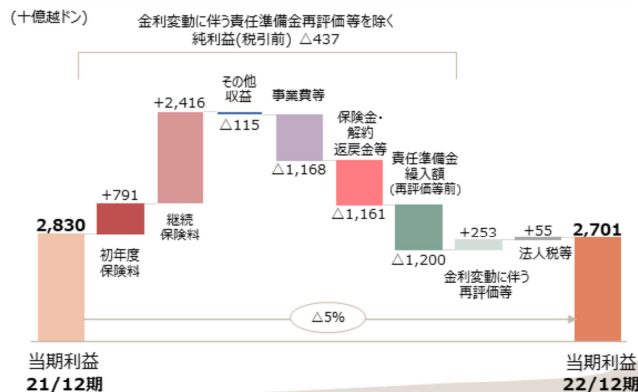
- ▶ 保険料等収入は、初年度保険料、継続保険料ともに拡大し、前期比+17%増加の21,855十億越ドン
- ▶ 当期純利益は、新契約拡大に伴う事業費の増加や責任準備金繰入額の増加により、前期比△5%減の2,701十億越ドン

単体業績

(十億越ドン)	21/12期	22/12期	前期比	(%)
保険料等収入(再保険収入を除く)	18,647	21,855	+ 3,208	+ 17%
初年度保険料	5,987	6,778	+ 791	+ 13%
継続保険料 ⁽¹⁾	12,659	15,076	+ 2,416	+ 19%
その他収益	1,566	1,450	△ 115	
資産運用収益等	2,263	1,919	△ 343	
再保険収支	△ 697	△ 469	+ 227	
事業費等	△ 8,465	△ 9,634	△ 1,168	
初年度販売手数料・経費等	△ 6,581	△ 7,666	△ 1,084	
継続手数料・事務管理費	△ 1,883	△ 1,967	△ 83	
保険金・解約返戻金等	△ 2,273	△ 3,434	△ 1,161	
責任準備金繰入額等	△ 5,915	△ 6,862	△ 947	
責任準備金繰入額(再評価等考慮前)	△ 6,006	△ 7,207	△ 1,200	
金利変動に伴う責任準備金再評価等	91	344	+ 253	
法人税等	△ 728	△ 672	+ 55	
当期純利益(損失)	2,830	2,701	△ 128	△ 5%
当期純利益(損失) ※円換算後: 億円	141	151	+ 9	+ 7%
決算為替レート(対円)	0.0050	0.0056	+ 0.0006	+ 12%
金利変動に伴う責任準備金再評価等を除く純利益(税引後)	2,757	2,425	△ 331	△ 12%

(億円)	21/12期	22/12期	前期比	(%)
修正利益	141	151	+9	+7%

当期純利益(損失)の変動要因



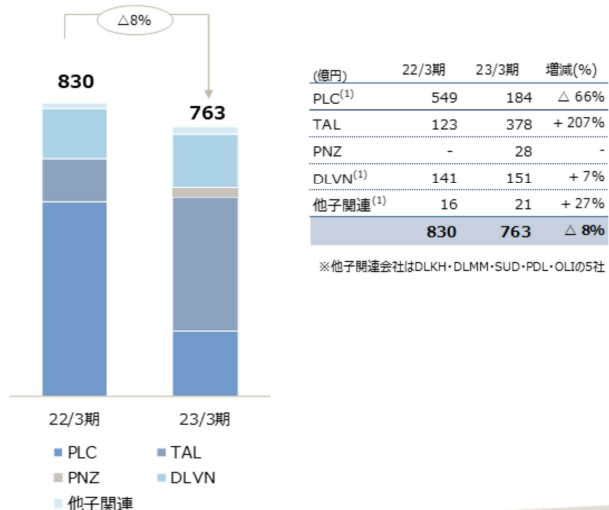
(1) 契約より2年目以降の保険料収入

[グループ各社の業績概要]

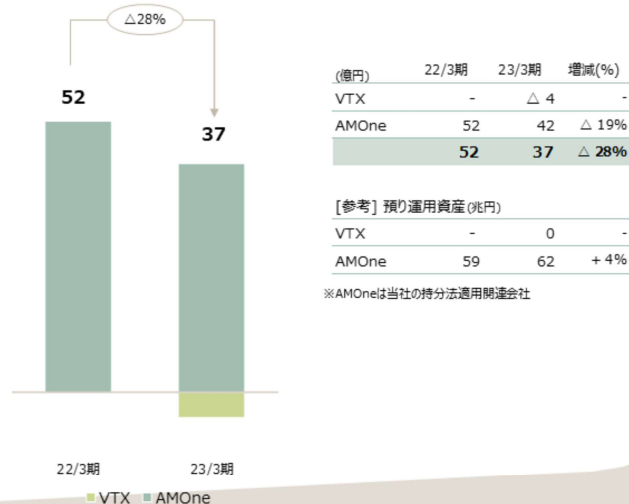
海外保険事業・その他事業(アセットマネジメント事業)

- ▶ 海外保険事業全体の修正利益は、豪TALがTLIS(旧Westpac Life)の利益貢献や金利変動による影響の反転等により大幅増益となったほか、PNZが利益貢献を開始し、DLVNやその他子関連会社も増益となった一方、米PLCの金融市場変動に伴う評価損等の影響で、前期比△8%減少の763億円
- ▶ アセットマネジメント事業は、VTXが営業を開始した他、金融市場変動の影響により営業収入が低下したことから、前期比△28%減少の37億円

海外保険事業 修正利益合計



その他事業(アセットマネジメント事業) 修正利益合計



(1) 決算日が12月31日の子関連会社はPLC・DLVN・DLKH・DLMM・PDL・OLIの6社です

グループEEV (European Embedded Value)

EEV - ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (1)

- ▶ グループEEVは、DLにおいて国内金利上昇により保有契約価値が増加したこと等を背景に、前期末比+2.8%(+1,980億円)増加の7兆3,490億円
- ▶ グループ新契約価値は、DFL・PLCの販売量増加に伴い増加したものの、主にDLで自社商品の販売量低下により大きく数字を落としたことに加え、NFL・TALにおいても新契約販売が低調だったこと等の影響で、前期比△30.6%減少の878億円、新契約マージンは同△1.37%ptの1.62%に低下

第一生命グループ

(億円)	22/3末	23/3末	増減
第一生命グループEEV	71,509	73,490	+1,980
対象事業 (covered business) のEEV ⁽¹⁾	72,000	75,121	+3,121
修正純資産	60,358	47,509	△12,849
保有契約価値	11,642	27,612	+15,970
対象事業以外の純資産等に係る調整 ⁽²⁾	△491	△1,631	△1,140

(億円)	22/3期	23/3期	増減
グループ新契約価値 (A)	1,266	878	△387
収入保険料現価 (B)	42,223	54,078	+11,854
新契約マージン (A/B)	3.00%	1.62%	△1.37%pt

(1) 対象事業(covered business)とは、EEV原則で定められているEV手法を適用した範囲のことで、EEV原則では、対象事業のEEVを開示することを求めています。第一生命グループでは従前は、第一生命グループが行うすべての事業を対象事業としていましたが、2016年10月1日付の持株会社体制移行後は、生命保険事業を行う子会社(DL、DFL、NFL、米PLC、豪TAL、PNZ(ニュージーランド)、DLVN(ベトナム)およびこれらの子会社)を対象事業としました。DLReを活用したグループ内再保険は元受会社に含めています。

(2) 「対象事業以外の純資産等に係る調整」には、第一生命ホールディングスの単体貸借対照表の純資産の部(22/3末：12,661億円、23/3末：13,111億円)、第一生命ホールディングスの生命保険事業子会社7社に対する出資に係る調整(22/3末：△13,870億円、23/3末：△15,709億円)、第一生命ホールディングスが保有する資産・負債を時価評価する調整が含まれます。

EEV - ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (2)

グループ各社(国内)のEEV

(億円)				(億円)			
第一生命	22/3末	23/3末	増減	22/3期	23/3期	増減	
EEV	49,766	51,602	+1,836	新契約価値	686	140	△ 545
修正純資産	49,441	36,348	△ 13,093	収入保険料現価	16,361	14,376	△ 1,984
保有契約価値	324	15,254	+14,929	新契約マージン	4.20%	0.98%	△ 3.22%pt
第一フロンティア生命	22/3末	23/3末	増減	22/3期	23/3期	増減	
EEV	5,855	5,637	△ 217	新契約価値	43	169	+126
修正純資産	3,620	1,098	△ 2,522	収入保険料現価	10,238	22,229	+11,991
保有契約価値	2,234	4,538	+2,304	新契約マージン	0.42%	0.76%	+0.34%pt
ネオファースト生命	22/3末	23/3末	増減	22/3期	23/3期	増減	
EEV	1,904	1,980	+76	新契約価値	220	100	△ 119
修正純資産	128	10	△ 117	収入保険料現価	1,925	1,416	△ 509
保有契約価値	1,775	1,970	+194	新契約マージン	11.45%	7.13%	△ 4.32%pt
				新契約価値*	258	131	△ 126
				新契約マージン*	13.40%	9.30%	△ 4.10%pt

*均衡事業費ベース

EEV - ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (3)

グループ各社(海外)のEEV

	(億円)		
米プロテクトティブ	21/12末	22/12末	増減
EEV	8,819	7,611	△ 1,208
修正純資産	4,285	4,854	+ 568
保有契約価値	4,533	2,756	△ 1,776
※為替レート (円/米ドル)	115.02	132.70	

	(億円)		
豪TAL	22/3末	23/3末	増減
EEV	4,553	5,741	+ 1,187
修正純資産	2,409	4,030	+ 1,620
保有契約価値	2,143	1,711	△ 432
※為替レート (円/豪ドル)	92.00	89.69	

	(億円)		
第一生命ベトナム	21/12末	22/12末	増減
EEV	1,310	1,979	+ 668
修正純資産	681	1,033	+ 352
保有契約価値	629	945	+ 315
※為替レート (円/越ドン)	0.0050	0.0056	

	(億円)		
	21/12期	22/12期	増減
新契約価値	89	281	+ 191
収入保険料現価	10,678	12,799	+ 2,121
新契約マージン	0.84%	2.20%	+ 1.36%pt
※為替レート (円/米ドル)	115.02	132.70	

	(億円)		
	22/3期	23/3期	増減
新契約価値	88	47	△ 40
収入保険料現価	1,831	1,852	+ 20
新契約マージン	4.83%	2.59%	△ 2.24%pt
※為替レート (円/豪ドル)	92.00	89.69	

	(億円)		
	21/12期	22/12期	増減
新契約価値	137	138	+ 0
収入保険料現価	1,188	1,352	+ 164
新契約マージン	11.59%	10.22%	△ 1.36%pt
※為替レート (円/越ドン)	0.0050	0.0056	

第一生命グループ及び第一生命のEEV感応度(2023年3月末)

第一生命グループ

(単位：億円、上段：変化額、下段：EEV・VNBに対する各変化率)

[対象事業のEEV感応度の内訳]

前提条件	EEV感応度	対象事業のEEV	対象事業以外の 純資産等に係る調整	新契約価値	修正純資産	保有契約価値
リスク・フリー・レート50bp上昇	+2,619 +4%	+2,510 +3%	+109 +0%	+68 +8%	△ 12,863 △ 18%	+15,373 +21%
リスク・フリー・レート50bp低下	△ 3,487 △ 5%	△ 3,375 △ 5%	△ 112 △ 0%	△ 98 △ 11%	+14,328 +19%	△ 17,704 △ 24%
株式・不動産価値10%下落	△ 4,893 △ 7%	△ 4,669 △ 6%	△ 223 △ 0%	△ 28 △ 3%	△ 4,350 △ 6%	△ 319 △ 0%
第一生命グループのEEV	73,490	75,121	△ 1,631	878		

第一生命

(単位：億円、上段：変化額、下段：EEV・VNBに対する各変化率)

[EEV感応度の内訳]

前提条件	EEV感応度	新契約価値	修正純資産	保有契約価値
リスク・フリー・レート50bp上昇	+2,824 +5%	+110 +79%	△ 11,078 △ 21%	+13,902 +27%
リスク・フリー・レート50bp低下	△ 3,624 △ 7%	△ 135 △ 96%	+12,430 +24%	△ 16,054 △ 31%
株式・不動産価値10%下落	△ 4,449 △ 9%	- -	△ 4,449 △ 9%	- -
第一生命のEEV	51,602	140		

資産・負債の対応を考慮したEEVの再分類

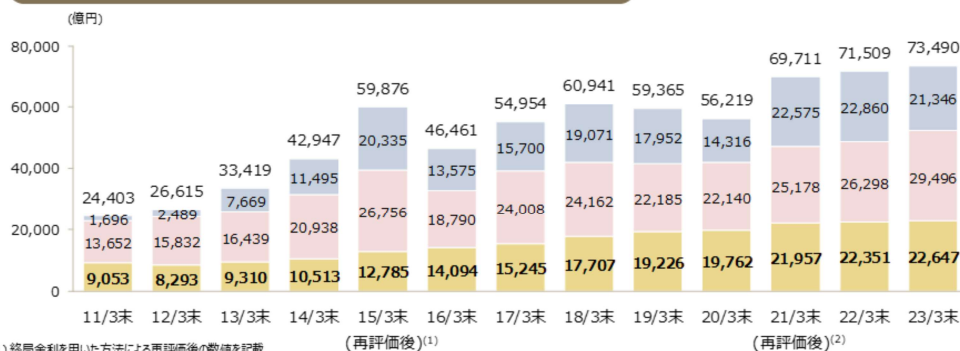
第一生命グループのEEV (億円)

(億円)	22/3末	23/3末	増減
第一生命グループEEV	71,509	73,490	+1,980
対象事業(coveted business)のEEV	72,000	75,121	+3,121
修正純資産	60,358	47,509	△12,849
保有契約価値	11,642	27,612	+15,970
対象事業以外の純資産等に係る調整	△491	△1,631	△1,140

資産・負債の対応を考慮した再分類

(億円)	22/3末	23/3末	増減
第一生命グループEEV	71,509	73,490	+1,980
確定利付資産以外の含み損益等 ⁽³⁾	22,860	21,346	△1,514
保有契約価値+確定利付資産の含み損益等 ⁽⁴⁾	26,298	29,496	+3,198
純資産等+負債中の内部留保 ⁽⁵⁾	22,351	22,647	+296

資産・負債の対応を考慮した再分類による第一生命グループEEVの推移



保有契約価値+含み損益等:
保険契約の保有により生じる将来利益

確定利付資産以外の含み損益等⁽³⁾

保有契約価値+確定利付資産の含み損益等⁽⁴⁾

純資産等+負債中の内部留保⁽⁵⁾
: 実現利益の累積額に相当

- (1) 終局金利を用いた方法による再評価後の数値を記載
(2) 21/3期より基準変更(円金利の超長期補外のための終局金利等の変更、DFLの負債評価に用いる割引率への社債スプレッドの反映)を実施
(3) DLが保有する確定利付資産以外の資産(株式、外貨建債券(ハッジ外債を除く)、不動産等)の含み損益等の額を計上
(4) 保有契約価値に、DLの確定利付資産ならびにDFLおよびUNFLの資産の含み損益等を加算・調整した額を計上
本項目は、未実現利益のうち、主に金利の影響を受ける部分であり、金利水準等の変化に応じた、保有契約価値および確定利付資産の含み損益等の変動額は、お互いに相殺関係にあります
(5) 対象事業のEEVの修正純資産に対象事業以外の純資産等に係る調整を反映し、含み損益等を除いた額を計上

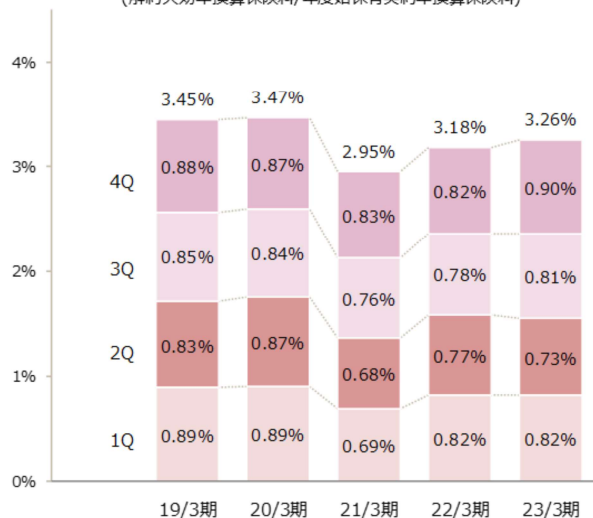
参考データ

[第一生命] 営業関連指標 – 解約失効・営業職数および生産性

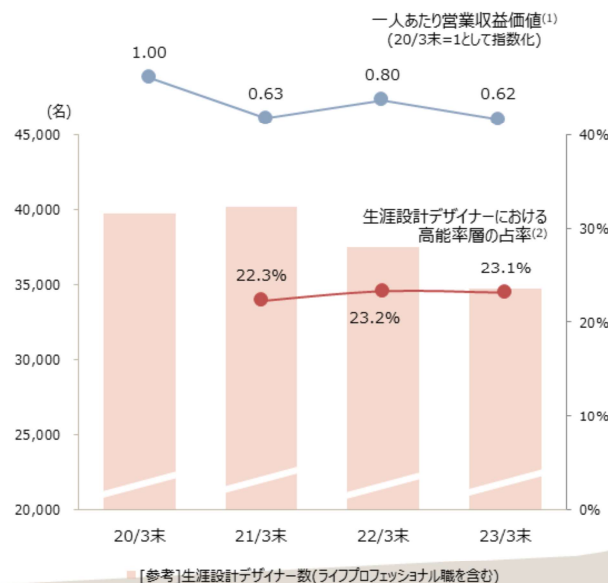
解約失効(個人保険・個人年金 年換算保険料ベース)

解約失効率

(解約失効年換算保険料/年度始保有契約年換算保険料)



生涯設計デザイナーの営業生産性と高能率層の占有率



[参考]生涯設計デザイナー数(ライフプロフェッショナル職を含む)

(1) 各期の営業収益価値(営業部門の獲得収益を表す当社独自の指標であり、経済環境の変動要因を除外した新契約価値に相当)を分子、入社初年度を除く生涯設計デザイナー数を分母として計算
(2) 所定の資格水準を満たす、お客さまに対するコンサルティング能力の高い生涯設計デザイナーの割合です

[第一生命] 資産運用の状況① - 資産運用収益・費用の内訳

利息・配当金等収入の内訳

(億円)	22/3期	23/3期	前期比	(%)
利息・配当金等収入	8,311	8,048	△ 263	△ 3%
公社債	2,694	2,669	△ 25	△ 1%
株式	744	752	+ 8	+ 1%
外国証券	3,208	3,179	△ 28	△ 1%
その他の証券	509	253	△ 255	△ 50%
貸付金	388	417	+ 28	+ 7%
不動産	711	689	△ 21	△ 3%

【参考】23/3期 有価証券運用利回り

(億円)	利息・配当金等収入	日々平均残高	利回り ⁽¹⁾
一般勘定計	8,048	328,138	2.45%
公社債	2,669	171,875	1.55%
株式	752	12,975	5.80%
外国証券	3,179	73,621	4.32%
その他の証券	253	7,613	3.33%
貸付金	417	26,210	1.59%
不動産 ⁽²⁾	689	8,955	7.70%

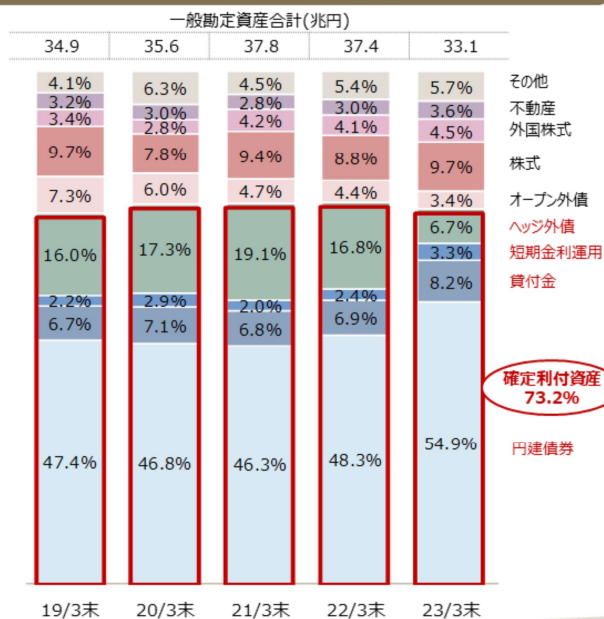
有価証券売却損益・有価証券評価損の内訳

(億円)	22/3期	23/3期	前期比	(%)
有価証券売却益	3,511	5,516	+ 2,005	+ 57%
公社債	725	1,706	+ 980	+ 135%
株式	1,667	1,430	△ 237	△ 14%
外国証券	1,088	2,326	+ 1,238	+ 114%
その他の証券	29	53	+ 24	+ 82%
有価証券売却損	2,215	4,333	+ 2,117	+ 96%
公社債	224	216	△ 7	△ 3%
株式	81	51	△ 29	△ 37%
外国証券	1,622	3,933	+ 2,311	+ 142%
その他の証券	288	133	△ 155	△ 54%
有価証券売却損益	1,295	1,182	△ 112	△ 9%
有価証券評価損	84	37	△ 47	△ 56%
公社債	-	-	-	-
株式	49	26	△ 22	△ 45%
外国証券	17	10	△ 7	△ 42%
その他の証券	18	0	△ 18	△ 99%

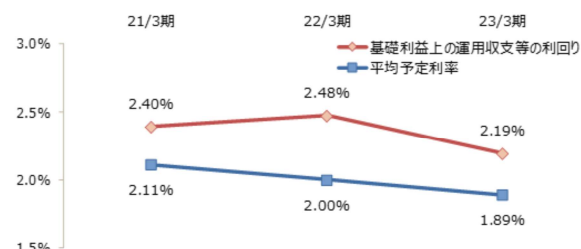
(1) 利息・配当金等収入を分子、日々平均残高を分母として計算
(2) 投資用不動産

[第一生命] 資産運用の状況② - 運用資産構成・資産運用利回りと平均予定利率

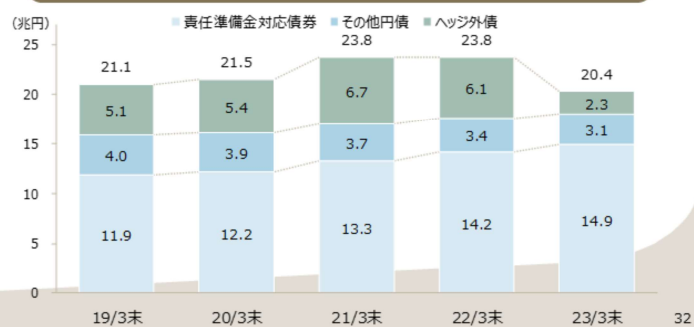
運用資産の構成(一般勘定)⁽¹⁾



資産運用利回りと平均予定利率



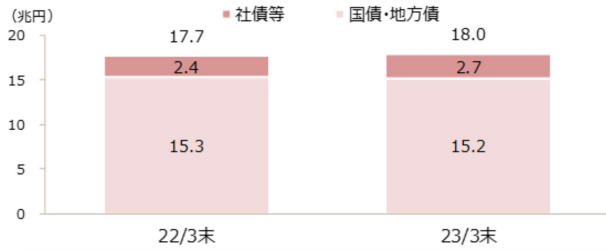
確定利付資産における債券積増し状況⁽²⁾



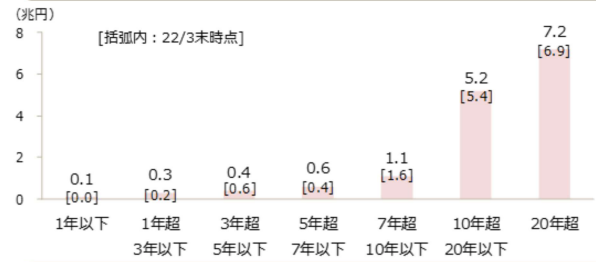
(1) 貸借対照表価額ベース (2) 簿価ベース

[第一生命] 資産運用の状況③ - 円建・外貨建債券の状況

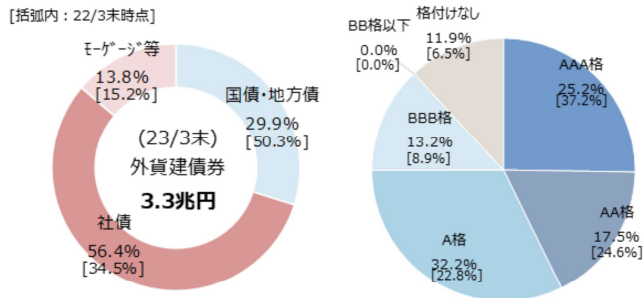
円建債券の内訳⁽¹⁾



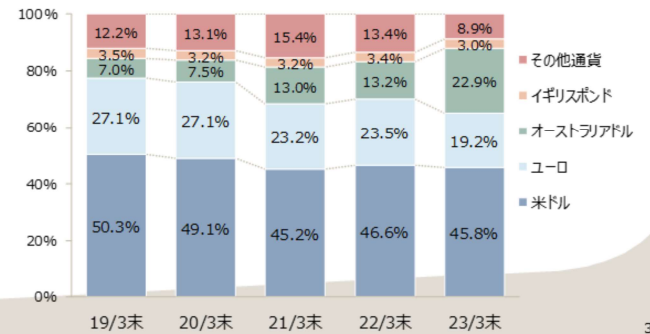
国債の残存期間別残高⁽²⁾ (23/3末)



外貨建債券の内訳⁽²⁾⁽³⁾ (23/3末)



外貨建債券の通貨別構成⁽²⁾



(1) 簿価ベース
 (2) 買値対照表価額ベース
 (3) 格付けはS&P・Moodyの2社の格付け機関による格付けの中間の評価を採用。モーゲージ等を除く

[第一生命] 健全性指標 – 含み損益とソルベンシー・マージン比率

含み損益(一般勘定)の状況

(億円)	22/3末	23/3末	前期末比	(%)
有価証券	44,392	26,594	△ 17,798	△ 40%
国内債券	18,042	6,626	△ 11,415	△ 63%
外国債券	3,787	△ 1,101	△ 4,889	-
為替ヘッジ付外貨建債券	1,397	△ 1,286	△ 2,683	-
国内株式	19,619	19,474	△ 145	△ 1%
外国株式	2,568	1,489	△ 1,078	△ 42%
不動産	4,876	5,234	+ 358	+ 7%
一般勘定資産合計	49,133	31,417	△ 17,715	△ 36%

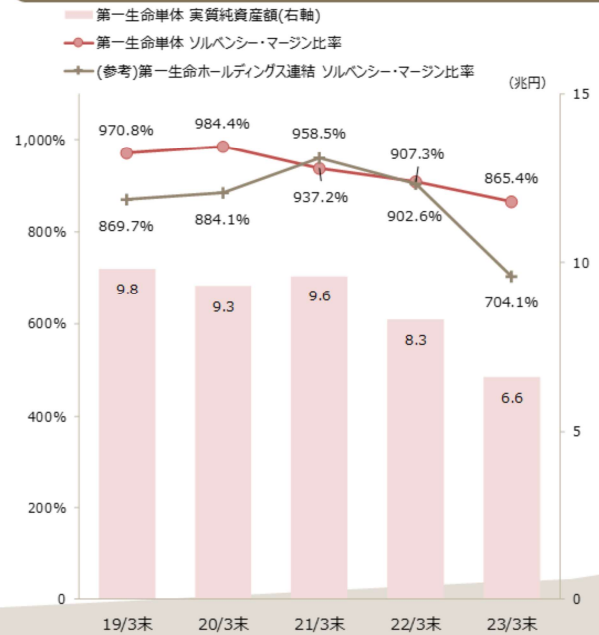
含み損益の市場感応度⁽¹⁾

国内債券	10年国債利回り10bpの変動で 2,800億円の増減※ (2022年3月末: 2,900億円) ※其他有価証券区分: 100億円の増減 (2022年3月末: 200億円)	10年国債利回り 0.6%※ (2022年3月末: 0.8%) ※其他有価証券区分: 1.1% (2022年3月末: 1.5%)
国内株式	日経平均株価1,000円の変動で 1,100億円の増減 (2022年3月末: 1,100億円)	日経平均株価 ¥10,700 (2022年3月末: ¥11,000)
外国証券	ドル/円 1 円の変動で 160億円の増減 (2022年3月末: 210億円)	ドル/円 \$1 = ¥119 (2022年3月末: ¥107)

(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

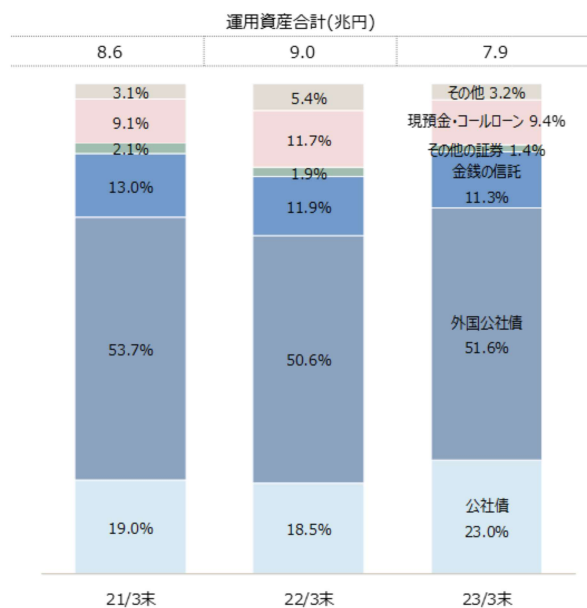
(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロになる水準であり、外国証券はドル円換算にて算出した。為替要因のみの含み損益がゼロになる水準

ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額



[第一フロンティア生命] 資産運用の状況 - 運用資産構成

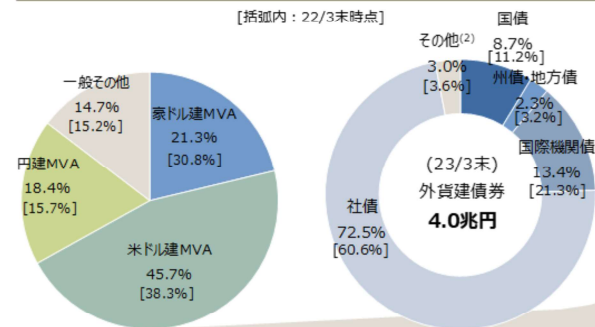
運用資産の構成(一般勘定) ⁽¹⁾



保有目的区分別有価証券の状況 (23/3末)

(億円)	簿価	時価	含み損益
責任準備金対応債券	43,556	41,377	△ 2,178
その他の有価証券	17,864	17,258	△ 605
公社債	4,290	4,229	△ 60
外国証券	12,215	11,694	△ 520
その他の証券	1,138	1,118	△ 19

運用区分別資産残高(一般勘定)と外貨建債券の内訳

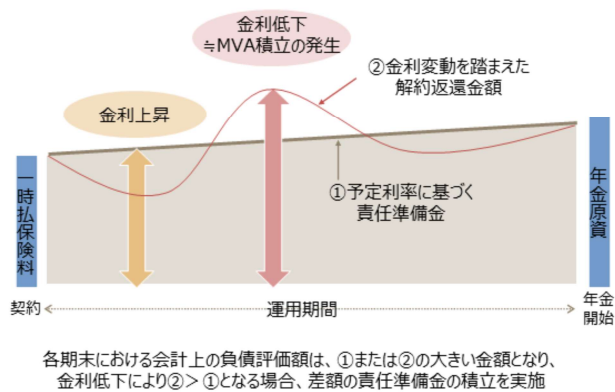


(1) 貸借対照表価額ベース
 (2) 国債・社債を裏付けとする仕組み債を含みます

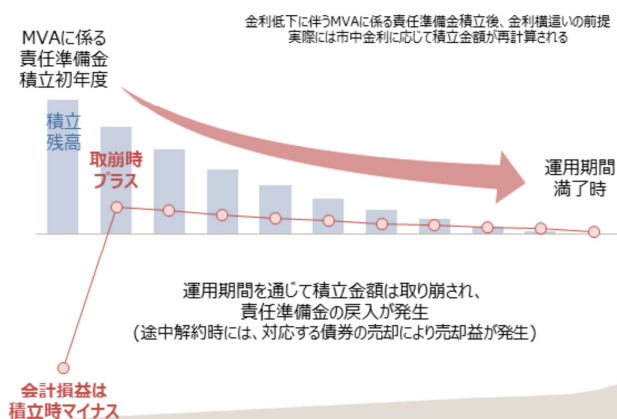
MVA(市場価格調整)関連損益について

- ▶ MVA(市場価格調整)付き商品の負債は、会計上、金利低下により「金利変動を踏まえた解約返還金額」が「予定利率に基づく責任準備金」を上回る場合、差額の責任準備金の積立が発生
- ▶ MVAに係る損益は、期間を通算すれば収支への影響はニュートラルなことから、グループ修正利益には含めない

MVAに係る責任準備金の積立発生(イメージ)



MVAに係る責任準備金残高と会計損益への影響(イメージ)



[米プロテクト・豪TAL] 営業の状況 – セグメント別営業業績

米プロテクト 営業業績

(百万米ドル)	21/12期	22/12期	前期比	(%)
リテール保険&年金事業	3,737	3,509	△ 228	△ 6%
伝統的保険	259	198	△ 61	△ 24%
ユニバーサル保険	97	105	+ 8	+ 8%
BOLI/COLI ⁽¹⁾	1,033	1,577	+ 544	+ 53%
定額年金	1,372	949	△ 423	△ 31%
変額年金	976	680	△ 296	△ 30%
ステーブルバリュー事業	4,335	4,430	+ 95	+ 2%
アセットプロテクション事業	740	951	+ 211	+ 29%

豪TAL 営業業績

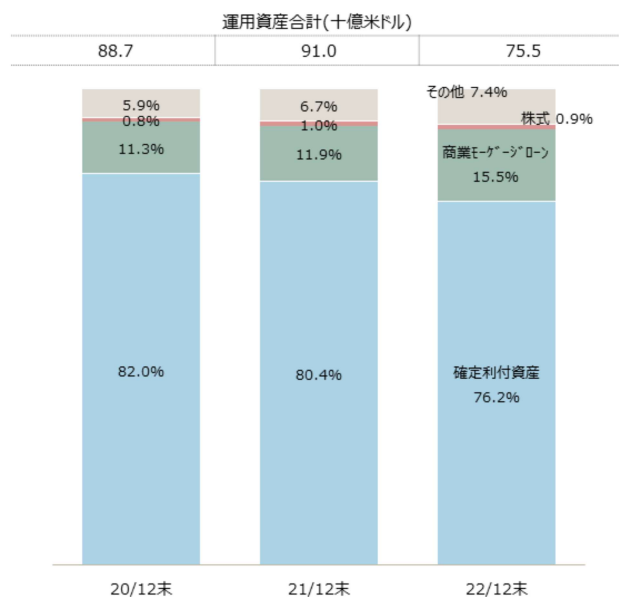
(百万豪ドル)	22/3期	23/3期	前期比	(%)
新契約年換算保険料	151	111	△ 40	△ 27%
(TAL) 個人保険	85	59	△ 26	△ 31%
団体保険	65	49	△ 16	△ 25%
TLIS (旧Westpac Life)	-	2	+ 2	-
既契約増減	464	628	+ 163	+ 35%
(TAL) 個人保険	251	284	+ 32	+ 13%
団体保険	213	251	+ 38	+ 18%
TLIS (旧Westpac Life)	-	92	+ 92	-

※既契約増減は契約更新や料率改定等に伴う既契約の年換算保険料の増減を示す

(1) BOLI(Bank Owned Life Insurance)/COLI(Corporate Owned Life Insurance)と呼ばれる、契約者・受取人を法人、被保険者を従業員とする福利厚生等を目的とした生命保険です

[米プロテクティブ] 資産運用の状況 - 運用資産構成

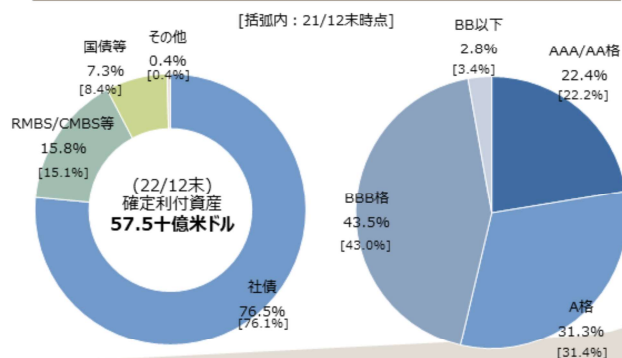
運用資産の構成(一般勘定) (1)



商業モーゲージローンの状況

(百万米ドル)	21/12末	22/12末	増減
商業モーゲージローン(引当前)	10,966	11,796	+ 830
不良債権	-	-	-
貸倒引当金	103	100	△ 3
(対ローン残高)	0.9%	0.8%	△ 0.09%pt

確定利付資産の内訳および格付構成



(1) 貸倒対照表価額ベース

グループ修正利益



Dai-ichi Life Holdings

(億円)	No.	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期
国内保険事業											
第一生命	当期利益	1	855	1,521	1,291	1,171	1,699	1,729	1,286	1,960	1,997
	調整 (1) 危険準備金繰入額 (法定評価分、税後)	2	249	192	129	129	-	-	216	△216	-
	調整 (2) 繰越危険準備金繰入額 (法定評価分、税後)	3	97	-	-	-	-	-	-	-	-
	調整 (3) MVA (市場価格調整) 繰上調整 (税後)	4	△6	△2	△4	△2	△0	△0	△0	△0	△0
	調整 (4) 持分変動額	5	-	-	-	-	-	△14	-	-	-
	調整額合計	6	340	189	125	127	△0	△14	216	△216	△0
	修正利益	7	1,195	1,711	1,416	1,299	1,699	1,714	1,502	1,744	1,997
第一フロンティア生命	当期利益	8	△152	△219	243	502	370	199	△1,000	863	1,386
	調整 (1) 危険準備金繰入額 (法定評価分、税後)	9	-	-	-	-	-	-	△300	480	15
	調整 (2) 繰越危険準備金繰入額 (法定評価分、税後)	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	調整 (3) MVA (市場価格調整) 繰上調整 (税後)	11	△9	469	75	△270	△79	7	1,935	△772	△815
	調整 (4) グループ運営制度の導入	12	-	-	-	-	-	-	-	-	△395
	調整額合計	13	△9	469	75	△270	△79	7	1,635	△292	△1,195
	修正利益	14	△161	249	318	232	291	207	634	571	190
ネオコースト生命	当期利益	15	-	4	△71	△59	△83	△85	△163	△141	△68
	調整 グループ運営制度の導入	16	-	-	-	-	-	-	-	-	△13
	修正利益	17	-	4	△71	△59	△83	△85	△163	△141	△81
アイベスト	当期利益	18	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	修正利益	19	-	-	-	-	-	-	-	-	3
国内保険事業修正利益		20	1,034	1,966	1,664	1,471	1,906	1,836	1,974	2,174	2,106
海外保険事業											
プロアクティブ	修正利益	21	-	-	323	457	349	335	507	374	549
TAL	修正利益	22	86	121	103	127	105	98	110	152	123
パートナーズライフ	修正利益	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-
第一生命ベトナム	修正利益	24	10	13	5	5	△20	2	60	59	141
海外保険事業修正利益		25	106	157	457	615	468	469	703	602	830
Dai-ichi Re	当期利益	26	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	調整 資産価値評価に係る調整	27	-	-	-	-	-	-	-	-	20
	修正利益	28	-	-	-	-	-	-	-	-	0
その他の事業(アセットマネジメント事業)	修正利益	29	44	61	59	58	53	104	120	99	52
持株会社・中間持株会社	修正利益	30	-	-	-	0	3	△35	△44	△40	△35
連結調整	調整 (1) 早期配当調整	31	27	36	135	44	-	-	-	-	-
	調整 (2) TAL退会後配当	32	-	-	-	-	-	10	8	7	11
	調整 (3) 資産に準じた持株会社・中間持株会社における償却額	33	-	-	-	-	-	-	-	-	8
	調整 (4) グループ内所有関係に係る連結調整	34	-	-	-	-	-	-	-	-	476
	調整 (5) 修正後費事費 (シシエグループ・ベトナム調整後)	35	-	-	-	-	-	-	-	-	145
	調整 (6) のれん償却額	36	51	86	63	56	70	82	564	57	69
	調整 (7) 持分変動額 (第一生命)	37	-	-	-	-	-	14	-	-	-
	調整 (8) 持分変動額 (持株会社)	38	-	-	-	△124	△335	-	-	△349	-
	調整 (9) 米国法人税減税	39	-	-	-	-	△901	-	-	-	-
	調整 (10) その他	40	△1	△22	△3	0	39	23	5	△8	△5
グループ修正利益 (注欄41=20+25+28+29+30-31-32-33-34-35)		41	1,160	2,147	2,046	2,101	2,432	2,363	2,745	2,628	2,961
連結当期純利益 (注欄42=41-6-13-16-27-36-37-38-39-40)		42	779	1,424	1,785	2,312	3,639	2,250	3,24	3,637	4,093

[再掲] 基礎利益の算定方法改正の反映について

- ▶ 22/3期において、経済的な実態の反映および保険会社間の取扱いに一貫性を持たせる観点から、基礎利益の算定方法の改正が予定されている
当社グループの通期業績予想の基礎利益は本改正を反映しており、1Qより改正後基準により基礎利益の開示等を行う
- ▶ 前期実績に本改正を反映した場合、基礎利益(順ざや)が△887億円減少するが、経常利益・当期損益、当社グループの実質的な収益力を示す修正利益に変動はない

基礎利益の改正に伴う変動額

[改正前]		改正に伴う変動額(DL単体22/3期実績)		[改正後]	
(億円)	22/3期			22/3期	差異
基礎利益	4,964	[順ざやから除外 → キャピタル損益へ計上]		4,076	△ 887
うち順ざや	2,195	①投資信託の解約損益 460 +626		1,307	△ 887
うち保険関係損益	2,768	②有価証券償還損益のうち為替変動部分 166		2,768	-
キャピタル損益	685	[為替差損益から除外 → 順ざやへ含める]		1,573	+ 887
うち為替差損益	△ 104	④為替に係るヘッジコスト △260		156	+ 260
臨時損益	△ 1,860			△ 1,860	
経常利益	3,789	※経常利益・当期純利益・修正利益は、		3,789	
当期純利益	1,997	変動しない		1,997	
修正利益	1,997			1,997	

③再保険に関する損益の改正は、当社グループは既に改正後の基準を採用しているため、改正の影響はない

改正項目	改正の方向性
① 投資信託の解約損益	基礎利益の算定から除外
② 有価証券償還損益のうち為替変動部分	
③ 再保険に関する損益	既契約の出再に伴う損益 基礎利益以外の損益と対応する再保険に関する損益
④ 為替に係るヘッジコスト	基礎利益の算定に含める

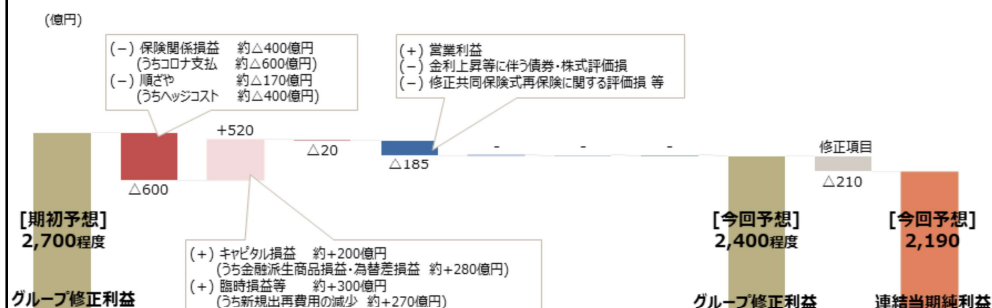
国内生保各社の変動額

(億円)		[改正前]	[改正後]	差異
22/3期	DL	4,964	4,076	△887
国内生保	DFL	439	439	△0
各社	NFL	△79	△79	-

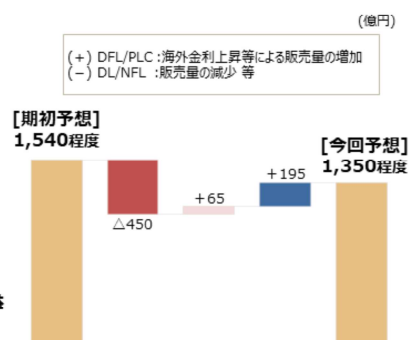
[再掲] 2023年3月期 グループ修正利益・新契約価値予想 – 変動要因(期初予想対比)

- ▶ グループ修正利益予想は、国内における7月以降の新型コロナ感染拡大、国内外の金融市場動向等を踏まえ、DLにおける入院給付金等の支払い増加やヘッジコスト上昇、米PLCにおける営業外損益(評価性)の悪化継続等を織り込み、2,400億円程度を見込む
連結純利益予想は、DFLにおいてMVA関連損益に含まれる金利変動損益(時価評価資産(債券)の評価損益)の悪化に伴い、2,190億円を見込む
- ▶ グループ新契約価値は、DFL・PLCで増加見通しも、DL商品の販売伸び悩みを主因に、1,350億円程度を見込む

グループ修正利益予想・期初予想比変動要因



グループ新契約価値予想・期初予想比変動要因



	DL ⁽¹⁾⁽²⁾ 基礎利益	DL ⁽¹⁾⁽²⁾ キャピタル・ 臨時損益等	DFL/NFL	米PLC	豪TAL	その他 海外生保	アセリマナジ・メント その他	修正項目	グループ修正利益	連結当期純利益
今回予想	2,400 程度	△610	115	155	175	160	15	△210	2,400 程度	2,190
期初予想 (5月)	3,000 程度	△1,130	135	340	175	160	15	+150	2,700 程度	2,850

(グループ修正利益からの増減金額)

	DL	DFL/NFL	海外	修正項目	グループ新契約価値
今回予想	410	350	585	+195	1,350 程度
期初予想 (5月)	860	285	390	-190	1,540 程度

(1) 基礎利益は税前を記載しており、DLにおける法人税等の変動は、キャピタル・臨時損益等に含めています
(2) 期初予想・今回予想ともに基礎利益の算定方法の改正後の基準により記載

修正ROE定義および過去実績

修正ROE = [分子] 修正利益 ÷ [分母] 修正ROE用純資産(年度始・年度末平均)

修正ROE用純資産 = 純資産 - のれん - 確定利付資産含み損益(税後)* + 第一フロンティア生命におけるMVA残高(税後)

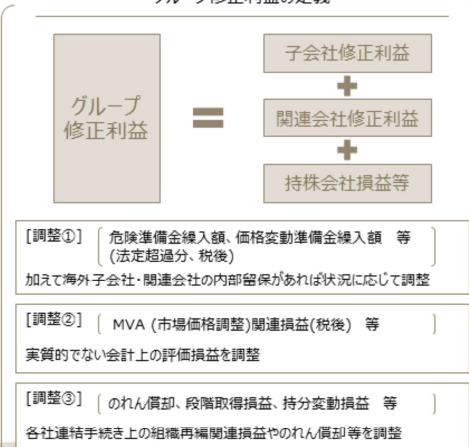
* 第一生命・ネオファースト生命: 確定利付資産含み損益⁽¹⁾のうち、その他有価証券評価差額金に計上される金額(税後)
第一フロンティア生命・プロテクト: その他有価証券評価差額金

修正ROE過去実績

	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期
(億円 / %)					
グループ修正ROE	7.6%	9.5%	8.9%	8.0%	5.0%
分子 (修正利益)	2,363	2,745	2,828	2,961	1,844
分母 (年度始・年度末平均)	30,958	28,753	31,723	37,146	36,553
分母 (年度末)	30,907	26,599	36,847	37,444	35,662
[分母算出]					
純資産	37,124	37,758	48,062	44,078	28,726
(-) のれん	489	394	426	562	1,195
(-) 確定利付資産含み損益	5,956	12,588	12,005	6,287	△ 8,122
(+) [第一フロンティア生命] MVA残高	228	1,824	1,218	216	8
修正ROE用純資産	30,907	26,599	36,847	37,444	35,662
うち株主資本	17,088	16,415	18,936	19,963	19,705
第一生命 修正ROE	7.6%	7.9%	8.4%	8.2%	7.3%
分子 (修正利益)	1,714	1,502	1,744	1,997	1,656
分母 (年度始・年度末平均)	22,436	19,138	20,771	24,505	22,641
分母 (年度末)	21,777	16,500	25,043	23,967	21,315
[分母算出]					
純資産	28,852	25,499	31,902	27,569	21,000
(-) 確定利付資産含み損益	7,075	8,998	6,858	3,602	△ 315
修正ROE用純資産	21,777	16,500	25,043	23,967	21,315
うち株主資本	6,841	6,301	6,791	6,315	5,837

(1) 主に円建債券・買入金銭債券・為替ヘッジ付外貨建債券・確定利付資産を主たる投資対象とする投資信託等の含み損益を定義としています

グループ修正利益の定義



株主還元方針

株主還元方針

機動的・柔軟な
追加還元の検討
(21/3期より)

- 総還元性向の目安
中期平均 50%

追加還元検討における考慮要素

資本充足率(ESR)水準
市場関連リスク・感応度削減の状況

持株会社キャッシュの状況
グループ財務レバレッジ

戦略投資機会の有無
当社株価等

[自己株式消却方針]
使途が見込まれない自己株式は保有しないものとし、
使途が見込まれない自己株式を保有している状態が生じた場合には、
適切な時期に自己株式の消却を行います

総還元性向の
推移イメージ

追加還元の規模・タイミング等は戦略的に判断

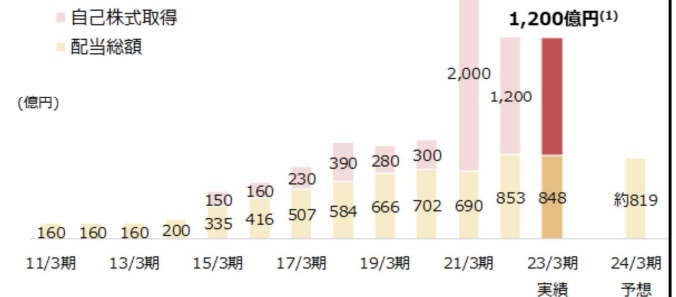
[配当性向の推移イメージ]

利益に応じた
安定配当
(22/3期より)

[配当性向] 毎期 **30%以上**

- グループ修正利益過去3年平均をベース
- 1株あたり配当の減配は原則行わない

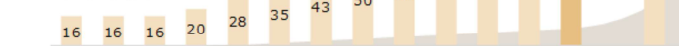
株主還元の推移



グループ修正利益	2,432	2,363	2,745	2,828	2,961	1,844	
過去3年平均							2,501
							2,700

(円/株)

1株あたり配当金⁽²⁾



(1) 2023年5月15日取締役会において決議した自己株式取得の上限金額 (2) 13/3期以前については株式分割後の換算値

第一生命グループ - 連結財務諸表(要約)

連結損益計算書

(億円)	22/3期	23/3期	増減
経常収益	82,097	95,194	+ 13,097
保険料等収入	52,919	66,354	+ 13,435
資産運用収益	25,511	22,808	△ 2,702
利息・配当金等収入	13,867	14,313	+ 445
有価証券売却益	3,935	5,717	+ 1,782
金融派生商品収益	-	271	+ 271
為替差益	4,530	2,270	△ 2,259
特別勘定資産運用益	760	-	△ 760
その他経常収益	3,666	6,031	+ 2,365
経常費用	76,188	91,085	+ 14,897
保険金等支払金	58,557	64,439	+ 5,882
責任準備金等繰入額	3,168	985	△ 2,182
資産運用費用	3,811	11,462	+ 7,651
有価証券売却損	2,345	5,165	+ 2,820
有価証券評価損	78	217	+ 139
金融派生商品費用	401	-	△ 401
為替差損	-	-	-
特別勘定資産運用損	-	853	+ 853
事業費	7,521	8,313	+ 791
経常利益 (△は損失)	5,908	4,109	△ 1,799
特別利益	107	45	△ 61
特別損失	397	398	+ 0
契約者配当準備金繰入額	875	950	+ 75
税金等調整前当期純利益 (△は損失)	4,743	2,806	△ 1,936
法人税等合計	650	883	+ 233
非支配株主に帰属する当期純利益 (△は損失)	-	0	+ 0
親会社株主に帰属する当期純利益 (△は損失)	4,093	1,923	△ 2,170

連結貸借対照表

(億円)	22/3末	23/3末	増減
資産の部合計	658,811	615,788	△ 43,022
現金・コール	26,637	25,859	△ 777
買入金銭債権	2,559	2,461	△ 97
有価証券	515,047	467,117	△ 47,930
貸付金	39,785	43,498	+ 3,712
有形固定資産	11,597	12,399	+ 802
繰延税金資産	93	2,478	+ 2,385
負債の部合計	614,726	587,057	△ 27,668
保険契約準備金	527,459	539,463	+ 12,003
責任準備金	514,076	525,060	+ 10,984
社債	8,703	9,496	+ 792
その他負債	59,067	23,731	△ 35,336
退職給付に係る負債	3,925	3,678	△ 247
価格変動準備金	2,873	3,055	+ 182
繰延税金負債	2,563	446	△ 2,116
純資産の部合計	44,085	28,731	△ 15,353
株主資本合計	19,963	19,705	△ 257
その他の包括利益累計額合計	24,115	9,021	△ 15,094
その他有価証券評価差額金	23,979	7,427	△ 16,552
土地再評価差額金	166	303	+ 137

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

第一生命 - 財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)	22/3期	23/3期	増減
経常収益	44,508	41,398	△ 3,110
保険料等収入	22,761	22,968	+ 207
資産運用収益	12,470	13,792	+ 1,321
利息・配当金等収入	8,311	8,048	△ 263
有価証券売却益	3,511	5,516	+ 2,005
金融派生商品収益	-	-	-
特別勘定資産運用益	414	-	△ 414
その他経常収益	9,276	4,636	△ 4,639
経常費用	40,719	37,863	△ 2,856
保険金等支払金	30,159	24,513	△ 5,646
責任準備金等繰入額	448	229	△ 219
資産運用費用	3,616	6,693	+ 3,076
有価証券売却損	2,215	4,333	+ 2,117
有価証券評価損	84	37	△ 47
金融派生商品費用	386	169	△ 216
為替差損	104	821	+ 716
特別勘定資産運用損	-	468	+ 468
事業費	4,102	3,954	△ 147
その他経常費用	2,391	2,472	+ 80
減価償却費	396	414	+ 17
経常利益 (△は損失)	3,789	3,535	△ 253
特別利益	104	45	△ 58
特別損失	334	344	+ 10
契約者配当準備金繰入額	875	950	+ 75
税引前当期純利益 (△は損失)	2,683	2,285	△ 398
法人税等合計	686	629	△ 56
当期純利益 (△は損失)	1,997	1,656	△ 341

貸借対照表

(億円)	22/3末	23/3末	増減
資産の部合計	386,815	342,643	△ 44,172
現金・コール	9,218	11,216	+ 1,997
買入金銭債権	2,398	2,245	△ 153
有価証券	327,408	279,758	△ 47,650
貸付金	25,691	27,154	+ 1,462
有形固定資産	11,281	12,038	+ 757
繰延税金資産	-	910	+ 910
負債の部合計	359,245	321,643	△ 37,602
保険契約準備金	301,317	298,770	△ 2,547
責任準備金	295,338	292,543	△ 2,794
危険準備金	5,998	5,998	-
社債	3,687	3,687	-
その他負債	43,713	11,412	△ 32,301
退職給付引当金	3,983	3,927	△ 56
価格変動準備金	2,504	2,634	+ 130
繰延税金負債	1,154	-	△ 1,154
純資産の部合計	27,569	21,000	△ 6,569
株主資本合計	6,315	5,837	△ 478
評価・換算差額等合計	21,254	15,163	△ 6,091
その他有価証券評価差額金	21,304	15,235	△ 6,068
土地再評価差額金	166	303	+ 137

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損、為替差益/損、金融派生商品収益/費用)

第一フロンティア生命 – 財務諸表(要約)



損益計算書

(億円)	22/3期	23/3期	増減
経常収益	22,146	39,992	+ 17,846
保険料等収入	15,030	26,126	+ 11,095
資産運用収益	7,115	5,075	△ 2,039
最低保証リスクに対するヘッジ利益	-	-	-
為替差益	4,657	3,089	△ 1,568
経常費用	20,914	39,852	+ 18,937
保険金等支払金	16,953	36,795	+ 19,841
責任準備金等繰入額	3,104	48	△ 3,056
最低保証リスクに係る責任準備金繰入額	32	△17	△ 50
危険準備金繰入額	28	△146	△ 174
資産運用費用	216	1,937	+ 1,720
最低保証リスクに対するヘッジ損失	27	4	△ 22
為替差損	-	-	-
事業費	518	889	+ 370
経常利益 (△は損失)	1,231	139	△ 1,091
特別利益	-	-	-
特別損失	59	52	△ 7
法人税等合計	△215	22	+ 238
当期純利益 (△は損失)	1,386	64	△ 1,322

【参考】

当期純利益 (△は損失)	1,386	64	△ 1,322
基礎利益・最低保証リスクヘッジ損益 ⁽¹⁾	411	△236	△ 648
その他キヤピタル・その他臨時損益	△45	107	+ 153
MVA(市場価格調整)関連損益 ⁽²⁾	893	122	△ 771
危険/価格変動準備金繰入/戻入額・法人税等合計	127	71	△ 55

貸借対照表

(億円)	22/3末	23/3末	増減
資産の部合計	99,370	86,383	△ 12,986
現金・コール	10,521	7,585	△ 2,935
有価証券	73,114	67,143	△ 5,971
負債の部合計	96,710	84,418	△ 12,291
保険契約準備金	85,237	76,503	△ 8,734
責任準備金	84,991	76,208	△ 8,783
(MVA残高)	300	12	△ 288
危険準備金	1,141	994	△ 146
純資産の部合計	2,660	1,965	△ 695
株主資本合計	2,750	2,415	△ 335
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	900	565	△ 335
その他有価証券評価差額金	△90	△450	△ 360

- (1) 最低保証リスクに関連した損益には、最低保証リスクに係る責任準備金繰入額及び同ヘッジ損益に加え、変動商品の危険保険料や最低保証に係る支払、再保険収支等を含む(22/3期: △6億円、23/3期: △94億円)
- (2) MVA(市場価格調整)に係る責任準備金繰入/戻入のうち、資産運用損益勘定で相殺され、経常利益に影響を及ぼさない部分は除く

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

米プロテクティブ – 財務諸表(要約)⁽¹⁾



損益計算書

(百万米ドル)	21/12期	22/12期	増減
経常収益	13,400	12,931	△ 468
保険料等収入	6,321	6,100	△ 220
資産運用収益	5,326	3,813	△ 1,512
その他経常収益	1,752	3,017	+ 1,264
経常費用	12,821	12,740	△ 80
保険金等支払金	6,156	6,180	+ 23
責任準備金等繰入額	5,079	-	△ 5,079
資産運用費用	108	3,114	+ 3,006
事業費	1,116	1,177	+ 60
その他経常費用	361	2,268	+ 1,907
経常利益 (△は損失)	578	190	△ 387
特別利益	-	-	-
特別損失	203	0	△ 202
法人税等合計	97	51	△ 46
当期純利益 (△は損失)	277	138	△ 138

貸借対照表

(百万米ドル)	21/12末	22/12末	増減
資産の部合計	131,895	113,151	△ 18,744
現金	726	568	△ 158
有価証券	90,603	72,834	△ 17,769
貸付金	12,499	13,286	+ 786
有形固定資産	227	222	△ 4
無形固定資産	3,121	4,066	+ 945
のれん	752	983	+ 231
その他の無形固定資産	2,338	3,055	+ 716
再保険貸	15,380	11,719	△ 3,661
負債の部合計	121,569	110,930	△ 10,638
保険契約準備金	110,561	103,105	△ 7,455
再保険借	508	632	+ 123
社債	1,666	1,988	+ 322
その他負債	7,220	5,138	△ 2,082
純資産の部合計	10,326	2,220	△ 8,105
株主資本合計	7,944	7,775	△ 169
その他の包括利益累計額合計	2,381	△ 5,554	△ 7,936

(1) 米国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

豪TAL – 財務諸表(要約)⁽¹⁾



損益計算書

(百万豪ドル)	22/3期	23/3期	増減
経常収益	6,405	8,331	+ 1,926
保険料等収入	6,219	7,399	+ 1,180
資産運用収益	1	196	+ 195
その他経常収益	185	736	+ 551
経常費用	6,242	7,764	+ 1,522
保険金等支払金	4,901	5,413	+ 511
責任準備金等繰入額	-	909	+ 909
資産運用費用	157	52	△ 104
事業費	983	1,173	+ 189
その他経常費用	199	216	+ 16
経常利益 (△は損失)	163	567	+ 404
特別損益	-	-	-
法人税等合計	37	158	+ 121
当期純利益 (△は損失)	126	409	+ 282
基礎的収益力⁽²⁾	241	267	+ 26

貸借対照表

(百万豪ドル)	22/3末	23/3末	増減
資産の部合計	14,041	17,931	+ 3,890
現金	904	738	△ 166
有価証券	7,077	9,720	+ 2,643
有形固定資産	30	17	△ 12
無形固定資産	1,039	1,011	△ 27
のれん	786	786	-
その他無形固定資産	252	225	△ 27
再保険貸	183	291	+ 108
その他資産	4,706	5,610	+ 904
繰延税金資産	99	540	+ 441
負債の部合計	10,708	13,474	+ 2,766
保険契約準備金	8,320	10,769	+ 2,448
再保険借	1,029	1,112	+ 82
社債	-	-	-
その他負債	1,358	1,593	+ 234
繰延税金負債	-	-	-
純資産の部合計	3,333	4,457	+ 1,124
株主資本合計	3,333	4,457	+ 1,124
資本金	2,130	3,055	+ 925
利益剰余金	1,202	1,401	+ 199

(1) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

(2) 従来は、豪TALよりグループ会社(DL)に再保険(出再)を行ったことに伴う損益を基礎的収益力(税引後)に含め、基礎的収益外損益(税引後)から控除する取扱いをしていましたが、23/3期4Qより当該損益は基礎的収益力(税引後)に含めない取扱いに変更しています。

第一生命ベトナム - 財務諸表(要約)⁽¹⁾

損益計算書

(十億越ドン)	21/12期	22/12期	増減
経常収益	21,727	24,706	+ 2,978
保険料等収入	19,555	22,431	+ 2,875
資産運用収益	2,169	2,271	+ 102
その他経常収益	2	2	+ 0
経常費用	18,240	21,337	+ 3,096
保険金等支払金	3,711	4,231	+ 520
責任準備金等繰入額	6,040	6,913	+ 873
資産運用費用	0	373	+ 373
事業費	8,406	9,564	+ 1,158
その他経常費用	83	254	+ 171
経常利益 (△は損失)	3,486	3,368	△ 118
特別利益	72	6	△ 66
特別損失	0	0	△ 0
法人税等合計	728	672	△ 55
当期純利益 (△は損失)	2,830	2,701	△ 128

貸借対照表

(十億越ドン)	21/12末	22/12末	増減
資産の部合計	46,392	58,219	+ 11,827
現金	9,106	12,864	+ 3,758
有価証券	29,860	35,492	+ 5,631
貸付金	977	1,259	+ 281
有形固定資産	114	105	△ 9
無形固定資産	42	67	+ 25
再保険貸	-	-	-
負債の部合計	32,844	39,870	+ 7,026
保険契約準備金	30,170	37,083	+ 6,913
再保険借	232	87	△ 144
その他負債	2,437	2,695	+ 257
純資産の部合計	13,547	18,349	+ 4,801
株主資本合計	13,547	18,349	+ 4,801

(1) ベトナムの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

主要子会社別損益計算書(要約)



Dai-ichi Life
Holdings

	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			米プロテクト			家TAL			第一生命ベトナム			連結		
(単位)	22/3期	23/3期	増減	22/3期	23/3期	増減	22/3期	23/3期	増減	21/12期	22/12期	増減	22/3期	23/3期	増減	21/12期	22/12期	増減	22/3期	23/3期	増減
経常収益	44,508	41,398	△ 3,110	22,146	39,992	+ 17,846	1,918	2,644	+ 726	15,412	17,159	+ 1,746	5,891	7,472	+ 1,581	1,086	1,383	+ 297	82,097	95,194	+ 13,097
保険料等収入	22,761	22,968	+ 207	15,030	26,126	+ 11,095	1,913	2,323	+ 409	7,270	8,095	+ 824	5,721	6,636	+ 914	977	1,256	+ 278	52,919	66,354	+ 13,435
資産運用収益	12,470	13,792	+ 1,321	7,115	5,075	△ 2,039	4	5	+ 1	6,126	5,060	△ 1,065	△ 0	175	+ 175	108	127	+ 18	25,511	22,808	△ 2,702
利息・配当金等収入	8,311	8,048	△ 263	1,731	1,757	+ 26	3	5	+ 1	3,700	4,367	+ 667	△ 0	12	+ 12	100	127	+ 26	13,867	14,313	+ 445
商品・サービス収益	3,511	5,516	+ 2,005	369	224	△ 144	0	-	△ 0	54	13	△ 40	-	-	-	-	-	-	3,935	5,717	+ 1,782
金融商品取引収益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42	672	+ 629	-	-	-	-	-	-	-	271	+ 271
為替差益	-	-	-	△ 657	3,069	△ 1,568	-	-	-	-	-	-	0	-	△ 0	-	-	-	△ 530	2,270	△ 2,259
特別損失・減価償却損	414	-	△ 414	345	-	△ 345	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	760	-	△ 760
その他経常収益	9,276	4,636	△ 4,639	0	8,790	+ 8,790	0	315	+ 315	2,016	4,003	+ 1,987	170	660	+ 490	0	0	+ 0	3,666	6,031	+ 2,365
経常費用	40,719	37,863	△ 2,856	20,914	39,852	+ 18,937	1,998	2,397	+ 398	14,747	16,907	+ 2,159	5,741	6,964	+ 1,222	912	1,194	+ 282	76,188	91,085	+ 14,897
保険料等支払金	30,159	24,513	△ 5,646	16,953	36,795	+ 19,841	954	2,017	+ 1,062	7,080	8,200	+ 1,120	4,509	4,855	+ 345	185	236	+ 51	58,557	64,439	+ 5,882
責任準備金等繰上額	448	229	△ 219	3,104	48	△ 3,056	684	17	△ 666	5,842	-	△ 5,842	-	815	+ 815	302	387	+ 85	3,168	985	△ 2,182
資産運用費用	3,616	6,693	+ 3,076	216	1,937	+ 1,720	0	0	+ 0	125	4,133	+ 4,008	143	46	△ 96	0	20	+ 20	3,811	11,462	+ 7,651
商品・サービス費用	2,215	4,333	+ 2,117	128	1,276	+ 1,147	-	-	-	1	11	+ 10	-	-	-	-	-	-	2,345	5,165	+ 2,820
商品・サービス費用	84	37	△ 47	-	-	-	-	-	-	△ 6	10	+ 17	-	-	-	-	-	-	78	217	+ 139
金融商品取引費用	385	159	△ 226	58	231	+ 173	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	401	-	△ 401
為替差損	104	821	+ 716	-	-	-	-	-	-	0	0	+ 0	-	0	+ 0	0	0	△ 0	-	-	-
特別損失・減価償却損	-	468	+ 468	-	385	+ 385	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	853	+ 853
事業費	4,102	3,954	△ 147	518	889	+ 370	343	333	△ 9	1,284	1,562	+ 277	904	1,052	+ 147	420	535	+ 115	7,521	8,313	+ 791
経常利益 (△は損失)	3,789	3,535	△ 253	1,231	139	△ 1,091	△ 80	247	+ 328	665	252	△ 412	150	508	+ 358	174	188	+ 14	5,908	4,109	△ 1,799
特別損失	104	45	△ 58	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0	△ 3	107	45	△ 61
特別損失	334	344	+ 10	59	52	△ 7	0	0	△ 0	233	0	△ 233	-	-	-	0	0	△ 0	397	398	+ 0
契約者返還準備金繰入額	875	950	+ 75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	875	950	+ 75
税金等調整前当期純利益	2,683	2,285	△ 398	1,171	87	△ 1,083	△ 81	247	+ 328	431	251	△ 179	150	508	+ 358	177	188	+ 11	4,743	2,806	△ 1,936
法人税等合計	686	629	△ 56	△ 215	22	+ 238	△ 12	0	+ 12	112	67	△ 44	34	142	+ 107	36	37	+ 1	650	883	+ 233
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	+ 0
当期純利益 (△は損失)	1,997	1,656	△ 341	1,386	64	△ 1,322	△ 68	247	+ 315	319	184	△ 135	115	366	+ 250	141	151	+ 9	4,093	1,923	△ 2,170

主要子会社別貸借対照表(要約)

	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			米プロテクト			豪TAL			第一生命ベトナム			連結		
(億円)	22/3末	23/3末	増減	22/3末	23/3末	増減	22/3末	23/3末	増減	21/12末	22/12末	増減	22/3末	23/3末	増減	21/12末	22/12末	増減	22/3末	23/3末	増減
資産の部合計	386,815	342,643	△ 44,172	99,370	86,383	△ 12,986	4,151	4,103	△ 48	151,706	150,152	△ 1,554	12,918	16,083	+ 3,164	2,319	3,260	+ 940	658,811	615,788	△ 43,022
現金・預金	9,218	11,216	+ 1,997	10,521	7,585	△ 2,935	2,692	2,626	△ 65	835	754	△ 81	832	662	△ 170	455	720	+ 265	26,637	25,859	△ 777
買入金銭債権	2,398	2,245	△ 153	160	215	+ 55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,559	2,461	△ 97
有価証券	327,408	279,758	△ 47,650	73,114	67,143	△ 5,971	823	1,005	+ 182	104,211	96,650	△ 7,561	6,511	8,718	+ 2,207	1,493	1,987	+ 494	515,047	467,117	△ 47,930
貸付金	25,691	27,154	+ 1,462	-	-	-	17	19	+ 1	14,377	17,631	+ 3,253	12	13	+ 0	48	70	+ 21	39,785	43,498	+ 3,712
有形固定資産	11,281	12,038	+ 757	13	11	△ 2	3	2	△ 0	261	295	+ 34	28	16	△ 11	5	5	+ 0	11,597	12,399	+ 802
無形固定資産	1,285	1,246	△ 39	154	163	+ 9	63	96	+ 33	3,590	5,396	+ 1,806	956	907	△ 48	2	3	+ 1	5,027	7,616	+ 2,588
繰延税金資産	-	910	+ 910	426	526	+ 100	13	13	+ 0	-	624	+ 624	91	485	+ 393	3	3	△ 0	93	2,478	+ 2,385
負債の部合計	359,245	321,643	△ 37,602	96,710	84,418	△ 12,291	4,030	3,734	△ 296	139,829	147,205	+ 7,376	9,649	11,888	+ 2,238	1,642	2,232	+ 590	614,726	587,057	△ 27,668
保険契約準備金	301,317	298,770	△ 2,547	85,237	76,503	△ 8,734	3,961	3,663	△ 297	127,167	136,820	+ 9,653	7,655	9,658	+ 2,003	1,508	2,076	+ 568	527,459	539,463	+ 12,003
責任準備金	295,338	292,543	△ 2,794	84,991	76,208	△ 8,783	3,928	3,613	△ 315	125,902	135,474	+ 9,572	1,840	3,412	+ 1,571	1,462	2,013	+ 550	514,076	525,060	+ 10,984
社債	3,687	3,687	-	-	-	-	-	-	-	1,916	2,208	+ 291	-	-	-	-	-	-	8,703	9,066	+ 362
その他負債	43,713	11,412	△ 32,301	4,734	2,505	△ 2,229	64	66	+ 2	8,305	6,819	△ 1,486	1,047	1,231	+ 184	121	150	+ 29	59,067	23,731	△ 35,336
退職給付に係る負債	3,983	3,927	△ 56	-	-	-	-	-	-	94	87	△ 6	-	-	-	0	0	+ 0	3,925	3,678	△ 247
債務変動準備金	2,504	2,634	+ 130	368	420	+ 52	0	0	+ 0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,873	3,055	+ 182
繰延税金負債	1,154	-	△ 1,154	-	-	-	-	-	-	1,760	-	△ 1,760	-	-	-	-	-	-	2,563	446	△ 2,116
純資産の部合計	27,569	21,000	△ 6,569	2,660	1,965	△ 695	121	368	+ 247	11,877	2,946	△ 8,930	3,268	4,194	+ 926	677	1,027	+ 350	44,085	28,731	△ 15,353
株主資本合計	6,315	5,837	△ 478	2,750	2,415	△ 335	122	369	+ 247	9,265	9,072	△ 193	3,062	3,986	+ 924	679	948	+ 269	19,963	19,705	△ 257
その他の包括利益累計額合計	21,254	15,163	△ 6,091	△ 90	△ 450	△ 360	△ 1	△ 1	△ 0	2,612	△ 6,125	△ 8,737	206	207	+ 1	△ 1	79	+ 81	24,115	9,021	△ 15,094
その他有価証券評価差額金	21,304	15,235	△ 6,068	△ 90	△ 450	△ 360	△ 1	△ 1	△ 0	2,775	△ 7,356	△ 10,132	-	-	-	-	-	-	23,979	7,427	△ 16,552
土地再評価差額金	166	303	+ 137	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	166	303	+ 137

第一生命グループ連結ソルベンシー・マージン比率

(億円)	22/3末	23/3末	増減
ソルベンシー・マージン総額 (A)	83,444	59,751	△ 23,692
資本金等 ⁽¹⁾	15,613	12,798	△ 2,815
価格変動準備金	2,873	3,055	+ 182
危険準備金	7,159	7,007	△ 152
異常危険準備金	-	54	+ 54
一般貸倒引当金	2	15	+ 12
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)+繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90% (マイナスの場合100%)	29,463	9,947	△ 19,515
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	3,617	3,784	+ 166
未認識数増計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額(税効果控除前)	119	323	+ 203
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	22,508	23,059	+ 550
負債性資本調達手段等	10,037	9,237	△ 800
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△ 5,825	△ 7,320	△ 1,494
少額短期保険業者に係るマージン総額	0	0	△ 0
控除項目	△ 2,786	△ 2,855	△ 69
その他	659	644	△ 15
リスクの合計額 (B) $\sqrt{[(R_1^2 + R_2^2) + R_3 + R_4]^2 + (R_5 + R_6 + R_7)^2} + R_8 + R_9$	18,487	16,971	△ 1,515
保険リスク相当額 R_1	1,495	1,661	+ 165
一般保険リスク相当額 R_5	41	148	+ 106
巨大災害リスク相当額 R_6	15	17	+ 1
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	1,854	1,882	+ 27
少額短期保険業者の保険リスク相当額 R_9	0	0	△ 0
予定利率リスク相当額 R_2	2,099	2,074	△ 24
最低保証リスク相当額 $R_7^{(2)}$	761	746	△ 15
資産運用リスク相当額 R_3	14,873	13,350	△ 1,523
経営管理リスク相当額 R_4	422	397	△ 25
ソルベンシー・マージン比率 (A) / { (1/2) × (B) }	902.6%	704.1%	△ 198.5%pt

(1) 社外流出予定額及びその他の包括利益累計額等を除く
(2) 標準的方法を用いて算出

本資料の問い合わせ先

第一生命ホールディングス株式会社
経営企画ユニット IRグループ
電話：050－3780－6930

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命ホールディングス株式会社（以下「当社」という。）は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限られません。「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。